

注3

大学番号：私043

[平成27年度設置]

計画の区分：学部・学科の設置

注1

届出

尚美学園大学 芸術情報学部 音楽応用学科
尚美学園大学 芸術情報学部 舞台表現学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人尚美学園
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 法人本部総務部総務課

職名・氏名 主任 エトウ タクヤ
衛藤 卓也

電話番号 049-246-7374

FAX 049-246-9169

e-mail junbishitsu@s.shobi-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

芸術情報学部

＜音楽応用学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 留意事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

＜舞台表現学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	31
2. 授業科目の概要	35
3. 施設・設備の整備状況、経費	41
4. 既設大学等の状況	42
5. 教員組織の状況	43
6. 留意事項等に対する履行状況等	56
7. その他全般的事項	57

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人尚美学園

(2) 大 学 名

尚美学園大学

(3) 大学の位置

〒350-1110
埼玉県川越市豊田町1丁目1番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(マツダ ヨシユキ) 松田 義幸 (平成21年4月)		
学 長	(タナベ トシノリ) 田邊 敏憲 (平成26年4月)		
学 部 長	(ミナガワ ヒロシ) 皆川 弘至 (平成18年4月)		
学 科 長	(ニシ カズヒコ) 西 和彦 (平成27年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成 2 5 年度に報告済の内容 → (25)

平成 2 7 年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
・ 様式は、平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設 置 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
芸術情報学部 音楽応用学科 学士(芸術情報)	4年	70人	— 年次人	280人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 提出年度までの 平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	70人 (—) [—]								1.25倍	— 倍	
志願者数	108 (—) [4]	— (—) [—]									
受験者数	105 (—) [4]	— (—) [—]									
合格者数	105 (—) [4]	— (—) [—]									
B 入学者数	88 (—) [4]	— (—) [—]									
入学定員超過率 B/A	1.25										

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[4] (-) 88	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2 年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次							[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計							[] (-) 88	[] ()	[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	88 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		%
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
合 計	88 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<芸術情報学部 音楽応用学科>

(1) 授業科目表

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数		専任教員等の配置					備考		
				必修	選択 自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教 学 人 間 基 礎 力	学 生 の 基 礎 力	自己表現とコミュニケーション	1前・後		2							兼1	平成27年3月担当教員辞任のため 前期未開講。平成27年10月採用で公 募予定。(27)
		キャリアと自己形成	1前・後		2							兼1	
		古典的名作の世界	未開講 1前・後		2							兼1	
		知の冒険	1前・後		2							兼1	
		基礎就業力養成ゼミナールA	1前		1							兼2	
		基礎就業力養成ゼミナールB	1前		1							兼2	
		基礎就業力養成ゼミナールC	1後		1							兼2	
		コーラスA	1前		1							兼1	
		コーラスB	1後		1							兼1	
		生涯スポーツ論	1後		2							兼1	
		スポーツ表現A（バスケッボール）	1前		1							兼1	
		スポーツ表現B（バドミントン）	1後		1							兼1	
		スポーツ表現C（サッカー）	1前・後		1							兼1	
		スポーツ表現D（テニス）	1後		1							兼1	
		スポーツ表現E（卓球）	1後		1							兼1	
		スポーツ表現F（ソフトボール）	1前		1							兼1	
養 育 力	学 生 の 養 育 力	情報リテラシーⅠ	1前	2								兼7	平成27年3月担当教員1名辞任(27) 平成27年3月担当教員辞任。平成27年 10月採用で公募予定。(27)
		情報リテラシーⅡ	1後	2								兼7	
		Webデザイン基礎	1後		2							兼2	
		データ分析法Ⅰ	1前		2							兼1	
		データ分析法Ⅱ	1後・2後		2							兼1	
		ビジネスプログラミングⅠ	2前		4							兼1	
		ビジネスプログラミングⅡ	2後		4							兼1	
		データ構造論	1後		2							兼1	
		情報システム概論	1前・後		2							兼1	
		確率と統計基礎	1前		2							兼1	
		情報学概論	1前・後		2							兼1	
		科 の 異 文 化 理 解 目 力	学 生 の 科 の 異 文 化 理 解 目 力	英語Ⅰ	1前		1						
英語Ⅱ	1後				1							兼9	
英語Ⅲ	2前				1							兼9	
英語Ⅳ	2後				1							兼9	
選択英語Ⅰ	1前				1							兼3	
選択英語Ⅱ	1後				1							兼3	
選択英語Ⅲ	2前				1							兼3	
選択英語Ⅳ	2後				1							兼3	
ドイツ語Ⅰ	1前				1							兼1	
ドイツ語Ⅱ	1後				1							兼1	
ドイツ語Ⅲ	2前				1							兼1	
ドイツ語Ⅳ	2後				1							兼1	
フランス語Ⅰ	1前				1							兼1	
フランス語Ⅱ	1後				1							兼1	
フランス語Ⅲ	2前				1							兼1	
フランス語Ⅳ	2後				1							兼1	
イタリア語Ⅰ	1前				1							兼1	
イタリア語Ⅱ	1後				1							兼1	
イタリア語Ⅲ	2前				1							兼1	
イタリア語Ⅳ	2後				1							兼1	
イタリア語Ⅴ	3前		1							兼1			

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数				専任教員等の配置						備 考			
					必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手						
教 学 異 文 化 の 解 養 力 科 目	学 異 文 化 の 解	イタリア語Ⅵ	3後		1									兼1				
		スペイン語Ⅰ	1前		1									兼1				
		スペイン語Ⅱ	1後		1									兼1				
		スペイン語Ⅲ	2前		1									兼1				
		スペイン語Ⅳ	2後		1									兼1				
		中国語Ⅰ	1前		1									兼1				
		中国語Ⅱ	1後		1									兼1				
		中国語Ⅲ	2前		1									兼1				
		中国語Ⅳ	2後		1									兼1				
		韓国語Ⅰ	1前		1									兼1				
		韓国語Ⅱ	1後		1									兼1				
		韓国語Ⅲ	2前		1									兼2				
		韓国語Ⅳ	2後		1									兼2				
		英語圏文化論	1前・後		2									兼1				
		ドイツ語圏文化論	1前・後		2									兼1				
	フランス語圏文化論	1前・後		2									兼1					
	スペイン語圏文化論	1前・後		2									兼1					
	養 力 科 目	力 カ	中国語圏文化論	1前・後		2								兼1 兼2	平成27年3月担当教員1名辞任（27）			
			韓国語圏文化論	1前・後		2								兼1				
			日本語Ⅰ	1前		2								兼3				
			日本語Ⅱ	1後		2								兼4				
			日本語Ⅲ	2前		2								兼3				
			日本語Ⅳ	2後		2								兼4				
			日本文化論	1前・後		2								兼1				
			日本語能力試験対策講座	1前・後		2								兼1				
			科 目	人 間 と 文 化	哲学	1前・後		2									兼1	
					法と社会	1前		2									兼2	
					社会と人間	1前		2									兼1	
	人間の心理	1前・後				2								兼2				
	文化人類学	1前・後				2								兼1				
	暮らしと文化	1後				2								兼1				
	音楽と社会	1前・後				2								兼1				
	スポーツと社会	1後				2								兼2				
	クラシック音楽	1前・後				2								兼1				
	文学	1前・後				2								兼1				
	文学（日本文学）	1前・後				2								兼1				
美術	1前・後				2								兼2					
演劇と舞台芸術	1前・後				2								兼1					
歴史	1後				2								兼1					
人間と文化特演（日本文学）	1前・後		2								兼1							
人間と文化特演（クラシック音楽）	1後		2								兼1							
目	現 代 の 諸 相	情報化と社会	1後		2								兼0 兼1	平成27年3月担当教員辞任。平成27年10月採用で公募予定。（27） 平成27年3月担当教員辞任のため前期未開講。平成27年10月採用で公募予定。（27）				
		ジャーナリズム	1前		2								兼1					
		著作権	1前・後		2								兼1					
		コミュニケーションの心理	未開講 1前→後		2								兼0 兼1					
		エンタテインメント企画制作	1前・後		2								兼1					
		ポピュラー音楽	1前・後		2			1										
		日本国憲法	1後		2								兼1					
		アート・マネジメント	1前・後		2								兼2					
		異文化コミュニケーション	1前・後		2								兼1					
		現代社会と経済	1前・後		2								兼1					
		現代社会と政治	1前		2								兼1					
		地球と環境	1前・後		2								兼1					
		現代の企業経営	1後		2								兼1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
教 養 科 目	現 代 の 諸 相	現代の国際社会	1前	2							兼1
		都市と建築	1前・後	2							兼1
		スポーツ国際支援	1前	2							兼1
		現代の諸相特演（エンタテインメント企画制作）	1前・後	2							兼1
		現代の諸相特演（ジャーナリズム）	1後	2							兼1
		現代の諸相特演（アート・マネジメント）	1後	2							兼1
		現代の諸相特演（都市と建築）	1後	2							兼1
		現代の諸相特演（著作権）	1後	2							兼1
		現代の諸相特演（地球と環境）	1後	2							兼1
		現代の諸相特演（現代社会と政治）	1後	2							兼1
		現代の諸相特演（現代社会と経済）	1後	2							兼1
	知 と 美 の 饗 宴	西洋文化と諸芸術	2後	2							兼2
		テーマパーク論Ⅰ	2前	2							兼1
		テーマパーク論Ⅱ	2後	2							兼1
		都市と芸術	2前	2							兼1
		都市と芸術特演	2前	2							兼1
		ビューティ文化	2前・後	2							兼1
芸 術 情 報 学 部 専 門 科 目	学 部 共 通 科 目	コンピュータ概説	1前	2							兼1
		芸術職業論	1後	2		1					兼1
		音楽基礎論	1前・後	2							兼1
		音響基礎論	1前	2							兼1
		映像基礎論	1後	2							兼1
		デザインの基礎	1前・後	2							兼1
		MIDI演習	1前・後	1							兼1
		西洋音楽史Ⅰ	1前・後	2							兼2
		西洋音楽史Ⅱ	1前・後	2							兼2
		ポピュラー音楽史	1前・後	2							兼1
		日本音楽史	1前・後	2							兼1
		日本芸能史	1前・後	2							兼1
		諸民族の音楽	1前・後	2							兼1
		音楽美学	1前・後	2							兼1
		空間芸術論	1前	2							兼1
		美学	1前・後	2							兼2
	科 目	人間と色彩	1前	2							兼1
		映画論	1前・後	2							兼1
		録音表現概論	1前・後	2			1				
		情報通信	1後	2							兼1
		著作権法	1前	2		1					
		情報法制	1前・後	2							兼1
		音楽企画概論	1前・後	2		1					
		舞台芸術運営論	1前・後	2							兼1
		音楽療法概論	1前・後	2							兼1
		音楽療法演習	1前・後	1							兼1
		デジタル印刷表現	1前	2							兼1
		簿記論	1前	2							兼1
		マーケティングリサーチ	1後	2							兼1
		マルチメディア制作	1前	1							兼1
		ヴィジュアル表現基礎Ⅰ	1前	2							兼1
		ヴィジュアル表現基礎Ⅱ	1後	2							兼1
		認知心理学A	1前	2							兼1
		認知心理学B	1後	2							兼1
		感性音響学	2前・後	2							兼1

科目区分			授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						備考	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
芸術学 部 専 門 科 目	音楽基礎科目	音響リテラシー	1前	2									兼2	兼2 担当教員見直し (27)	
		映像リテラシー	1後	2			0 +								
		著作権概論	1後	2			1								
		アナログ音源論	2前	2				1							
		デジタル音源論	2後	2				1							
		知的財産権入門	2前	2			1						兼1		
		音楽著作権	2前	2									兼1		
		コマーシャル研究	2後	2			1						兼1		
		起業論	3前	2			1								
情報応用 メ デ イ ア 専 門 科 目	音楽	専攻実技Ⅰ	1前		2		0 +	0 +					5 兼6	5 兼6 担当教員見直し (27)	
		専攻実技Ⅱ	1後		2		0 +	0 +					5 兼6		
		専攻実技Ⅲ	2前		2		1	1					兼6		
		専攻実技Ⅳ	2後		2		1	1					兼6		
		専攻実技Ⅴ	3前		2		1	1					兼6		
		専攻実技Ⅵ	3後		2		1	1					兼6		
	音楽	ミュージック・セオリー	1前		2				1					2 兼1	2 兼1 担当教員追加 (27)
		イヤー・トレーニングⅠ	1前		1					1				1 兼2	
		イヤー・トレーニングⅡ	1後		1					1				1 兼2	
		イヤー・トレーニングⅢ	2前		1					1				兼1	
		イヤー・トレーニングⅣ	2後		1					1				兼1	
		ハーモニック・セオリーⅠ	1後		1				1					1 兼3	
	音楽	ハーモニック・セオリーⅡ	2前		1				1					兼3	兼3 担当教員見直し (27)
		ハーモニック・セオリーⅢ	2後		1				1					兼2	
		ハーモニック・セオリーⅣ	3前		1				1					兼2	
		ハーモニック・セオリーⅤ	3後		1				1						
		ハーモニック・セオリーⅥ	4前		1				1						
		電子楽器概論	2前		2		1								
		メディア作品分析Ⅰ	2前		2				1					兼1	
		メディア作品分析Ⅱ	2後		2				1					兼1	
		DAW活用研究Ⅰ	3前		2									兼1	
		DAW活用研究Ⅱ	3後		2									兼1	
		録音制作演習Ⅰ	3前		2									兼1	
		録音制作演習Ⅱ	3後		2									兼1	
音楽 ビ ジ ネ ス 目 的 科 目	音楽ビジネス	音楽ビジネスA	1前		2			1						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
		音楽ビジネスB	1後		2		1								
		音楽ビジネスC	2前		2		1								
		音楽ビジネスD	2後		2			1							
		音楽ビジネスE	3前		2		2	1							
		音楽ビジネスF	3後		2		2								
		サブカルチャー研究Ⅰ	1前		2			1							
		サブカルチャー研究Ⅱ	1後		2		1								
		出版編集ソフト演習	1後		2								兼1		
		ソーシャルメディアと音楽	2前		2								兼1		
		マネージメント心理学	2前		2								兼1		
		ビジネス著作権	2後		2								兼1		
		ライブ&エンタテインメントの著作権	2後		2								兼1		
		コンサートビジネス演習	2後		2								兼1		
		ライブハウス文化論	2後		2								兼1		
		出版編集研究	2前		2		1								

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
4 科 目	物理音響学Ⅰ	1前		2			1				0 兼1 就任遅延による担当教員変更、及び 履修希望者なしのため未開講 (27)
	物理音響学Ⅱ	1後		2			1				
	音楽構造論Ⅰ	未開講 1前		2		1					
	音楽構造論Ⅱ	1後		2							
	コンピュータ音楽Ⅰ	1前		2		1					
	コンピュータ音楽Ⅱ	1後		2		1					
	コンピュータ音楽Ⅲ	2前		2		1					
	コンピュータ音楽Ⅳ	2後		2		1					
	映像論	2前		2							
	映像音響論	2後		2							
	会計&経営モデル演習	3後		2		1					
	キャリア										0 兼1 0 兼2 0 兼2 兼2 兼1 兼1 兼1
	インターンシップⅠ	2・3前		2		2	2				
	インターンシップⅡ	2・3後		2		2	2				
	基礎演習Ⅰ	1前	1			1	2				
	基礎演習Ⅱ	1後	1			2	1				
	基礎演習Ⅲ	2前	1			2	1				
	基礎演習Ⅳ	2後	1			1	1				
	総合演習Ⅰ	3前	2			4	3	1			
	総合演習Ⅱ	3後	2			4	3	1			
	卒業研究	4通	4			4	3	1			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目 20	科目 203	科目 0	科目 223	科目 20	科目 203	科目 0	科目 223	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	古典的名作の世界	2	1前	一般	選択	平成27年3月担当教員辞任のため前期未開講。後任未定（公募予定）。(27)
2	コミュニケーションの心理	2	1前	一般	選択	平成27年3月担当教員辞任のため前期未開講。後任未定（公募予定）。(27)

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成27年度未開講科目については、兼任講師辞任により止む無く前期を未開講としたが、学生への影響が最小限となるよう、後期開講に向け手配を進めている。
学生に対しては、時間割に掲載しないことで周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}}$	=	0.00
---	---	------

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	82,118.62 m ²	0 m ²	0 m ²	82,118.62 m ²				
	運動場用地	27,290.96 m ²	0 m ²	0 m ²	27,290.96 m ²				
	小 計	109,409.58 m ²	0 m ²	0 m ²	109,409.58 m ²				
	そ の 他	9,389.42 m ²	0 m ²	0 m ²	9,389.42 m ²				
	合 計	118,799.00 m ²	0 m ²	0 m ²	118,799.00 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	新校舎完成に伴う誤差 調整のため (27)			
		35,277.77 m ² 35,282.88 m ² 35,277.77 m ² (35,282.88 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	35,277.77 m ² 35,282.88 m ² 35,277.77 m ² (35,282.88 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 講義室1室を演習室に 改修し、新たに演習室 3室を増設したため (27)		
		39 室 40 室	34 室 30 室	136 室	5 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		芸術情報学部 音楽応用学科			8 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	学科単位での特定不能 なため、大学全体の数 4/1開設時予定数と5/1 現在の数値の差 (27)		
		芸術情報学部 音楽応用学科	175,961 [32,687] (159,505 [31,767]) (156,599 [31,487])	968 [117] (956 [141]) (956 [113])	1,025 [410] (1,018 [403])	34,761 (30,706) (28,836)	0 (0) (0)		
	計	175,961 [32,687] (159,505 [31,767]) (156,599 [31,487])	968 [117] (956 [141]) (956 [113])	1,025 [410] (1,018 [403])	34,761 (30,706) (28,836)	0 (0) (0)			
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数	大学全体		
		2,736.78 m ²		302		186,308			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
		3,485.98 m ²		武道場		トレーニングルーム			
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体 図書費には電子ジャー ナル・データベースの整備費 (運用コスト含む)を含 む。
		教員 1 人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円	
		共 同 研 究 費 等	5,000千円	3,000千円	設備購入費	35,000千円	10,000千円	5,000千円	
	学生 1 人当 り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,850千円	1,480千円	1,480千円	1,480千円	一 千円	一 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			補助金収入、寄付金収入、資産運用収入、雑収入等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	尚 美 学 園 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
芸術情報学部	年	人	年次 人	人		倍			
情報表現学科	4	160	3年次 30	700	学士 (芸術情報)	1.25	平成12年度	埼玉県川越市豊田町 1丁目1番地1	
音楽表現学科	4	100	3年次 20	560	学士 (芸術情報)	0.95	平成12年度	同上	
音楽応用学科	4	70	－	70	学士 (芸術情報)	1.25	平成27年度	同上	
舞台表現学科	4	70	－	70	学士 (芸術情報)	1.28	平成27年度	同上	
総合政策学部									
総合政策学科	4	100	－	640	学士 (総合政策)	0.75	平成12年度	同上	
ライフマネジメント学科	4	160	－	700	学士 (総合政策)	1.16	平成19年度	同上	
大学 の 名 称	尚 美 学 園 大 学 大 学 院								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
芸術情報研究科	年	人	年次 人	人		倍			
情報表現専攻	2	10	－	20	修士 (情報表現)	0.75	平成18年度	埼玉県川越市豊田町 1丁目1番地1	
音楽表現専攻	2	10	－	20	修士 (音楽表現)	1.05	平成18年度	同上	
総合政策研究科									
政策行政専攻	2	10	－	20	修士 (総合政策)	1.15	平成16年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<共通>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	恩田 憲一	平成27年4月	コンピュータ概説						
兼任	教授	林 伸二	平成27年4月	音響基礎論						
兼任	教授	田村 和紀夫	平成27年4月	知の冒険 西洋音楽史Ⅰ 西洋音楽史Ⅱ 音楽美学 西洋文化と諸芸術						
兼任	教授	四方 義昭	平成27年4月	データ構造論 情報通信						
兼任	教授	華山 宣胤	平成27年4月	確率と統計基礎 マーケティングリサーチ						
兼任	教授	春口 蔵	平成27年4月	マルチメディア制作						
兼任	教授	小泉 昌幸	平成27年4月	スポーツ表現C (サッカー) スポーツ表現F (ソフトボール)						
兼任	教授	定平 誠	平成27年4月	Webデザイン基礎						
兼任	教授	伊達 雅彦	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語圏文化論 文学						
兼任	教授	萩野谷 悦子	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 異文化コミュニケーション						
兼任	教授	木村 啓子 [竹内 啓子]	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	教授	川島 真	平成27年4月	人間の心理						
兼任	教授	坂本 邦彦	平成27年4月	文化人類学						
兼任	教授	加藤 順一	平成27年4月	歴史 暮らしと文化						
兼任	教授	伊藤 雅之	平成27年4月	現代の企業経営						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	鐸木 昌之	平成27年4月	現代の国際社会						
兼任	准教授	樫村 雅章	平成27年4月	人間と色彩 映像基礎論						
兼任	准教授	林 容子	平成27年4月	空間芸術論 美術 アート・マネジメント 現代の諸相特演（アート・マ ネジメント）						
兼任	准教授	金原 由紀子	平成27年4月	アート・マネジメント 美術 美学	兼任	教授	金原 由紀子	平成27年4月	アート・マネジメント 美術 美学	平成27年4月昇格（27）
兼任	准教授	木村 光太郎	平成27年4月	哲学 社会と人間 スポーツと社会						
兼任	准教授	角谷 淳	平成27年4月	文学（日本文学） 人間と文化特演（日本 文学）						
兼任	准教授	眞下 英二	平成27年4月	日本国憲法						
兼任	講師	須藤 智	平成27年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ	兼任	准教授	須藤 智	平成27年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ	平成27年4月昇格（27）
兼任	講師	江頭 満正	平成27年4月	スポーツ国際支援 スポーツと社会						
兼任	助教	荒 まゆみ	平成27年4月	日本語能力試験対策講 座 日本文化論 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ						
兼任	講師	斎藤 弘美	平成27年4月	音楽基礎論						
兼任	講師	鶴田 学	平成27年4月	デザインの基礎						
兼任	講師	松本 俊行	平成27年4月	M I D I 演習						
兼任	講師	志村 かしわ	平成27年4月	日本音楽史						
兼任	講師	森重 行敏	平成27年4月	諸民族の音楽 日本芸能史						
兼任	講師	小口 順吾	平成27年4月	映画論	兼任	講師	太田 曜	平成27年4月	映画論	平成27年3月 小口順吾講師辞任のため平成 27年度より担当者の変更 （27）
兼任	講師	今西 頼太	平成27年4月	著作権 現代の諸相特演（著作 権） 情報法制						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	井上 眞次	平成27年4月	舞台芸術運営論						
兼任	講師	稲葉 千賀 [今中 千賀]	平成27年4月	音楽療法概論 音楽療法演習						
兼任	講師	山本 正記	平成27年4月	デジタル印刷表現						
兼任	講師	前川 道生	平成27年4月	簿記論						
兼任	講師	竹内 啓	平成27年4月	ヴィジュアル表現基礎 Ⅰ ヴィジュアル表現基礎 Ⅱ						
兼任	講師	織田 弥生 [上市 弥生]	平成27年4月	認知心理学A 認知心理学B						
兼任	講師	田部井 賢一	平成28年4月	感性音響学						
兼任	講師	早川 由美	平成27年4月	基礎就業力養成ゼミ ナールA 基礎就業力養成ゼミ ナールB 基礎就業力養成ゼミ ナールC 自己表現とコミュニ ケーション キャリアと自己形成						
兼任	講師	篠上 芳光	平成27年4月	基礎就業力養成ゼミ ナールA 基礎就業力養成ゼミ ナールB 基礎就業力養成ゼミ ナールC						
兼任	講師	天野 克彦	平成27年4月	古典的名作の世界			後任未定			平成27年3月 天野克彦講師辞任のため前期 未開講。平成27年10月採用で 公募予定。(27)
兼任	講師	仁階堂 孝	平成27年4月	コーラスA コーラスB						
兼任	講師	トンブソン 雅 子	平成27年4月	生涯スポーツ論						
兼任	講師	城田 雅幸	平成27年4月	スポーツ表現A(バス ケットボール) スポーツ表現B(バドミ ントン) スポーツ表現E(卓 球)						
兼任	講師	檜山 康	平成27年4月	スポーツ表現C(サッ カー)			後任なし			平成27年3月 檜山康講師辞任(27) 「スポーツ表現C(サッ カー)」は、他に担当教員が 1名いるため、支障はない。
兼任	講師	村井 友樹	平成27年4月	スポーツ表現D(テニ ス)			後任未定			平成27年3月 村井友樹講師辞任。平成27年 10月採用で公募予定。(27)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	大塚 敏夫	平成27年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ						
兼任	講師	川本 勝	平成27年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ						
兼任	講師	小林 秀明	平成27年4月	情報学概論 情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ						
兼任	講師	吉野 明美	平成27年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ ビジネスプログラミングⅠ ビジネスプログラミングⅡ						
兼任	講師	定村 薫	平成27年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ						
兼任	講師	楠本 眞司	平成27年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ						
兼任	講師	斎藤 忍	平成27年4月	Webデザイン基礎						
兼任	講師	桑田 匡之	平成28年4月	データ分析法Ⅰ データ分析法Ⅱ	兼任	講師	桑田 匡之	平成27年4月	データ分析法Ⅰ データ分析法Ⅱ	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	茂出木 敏雄	平成27年4月	情報システム概論						
兼任	講師	大味 潤	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	央戸 カール	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	安井 健一郎	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	浅野 薫子	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	小原 弥生	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	高橋 優季	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	峯 麻依子	平成27年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	中橋 友子	平成27年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	平成27年3月 峯麻依子講師辞任のため平成 27年度より担当者の変更 (27)
兼任	講師	中村 美奈子	平成27年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	八木 慶太郎	平成27年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	平成27年3月 中村美奈子講師辞任のため平 成27年度より担当者の変更 (27)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	原 田 英子	平成27年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	佐藤 正伸	平成27年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	ファイヤーズ カーン	平成27年4月	選択英語Ⅰ 選択英語Ⅱ 選択英語Ⅲ 選択英語Ⅳ						
兼任	講師	リチャード・S・ ロビンズ	平成27年4月	選択英語Ⅰ 選択英語Ⅱ 選択英語Ⅲ 選択英語Ⅳ	兼任	講師	ウェイン・F・ ハッチンス	平成27年4月	選択英語Ⅰ 選択英語Ⅱ 選択英語Ⅲ 選択英語Ⅳ	平成26年9月 リチャード・S・ロビンズ講師 辞任のため平成26年10月より 担当者の変更 (27)
兼任	講師	マイケル コーマック	平成27年4月	選択英語Ⅰ 選択英語Ⅱ 選択英語Ⅲ 選択英語Ⅳ						
兼任	講師	林 邦彦	平成27年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ ドイツ語圏文化論						
兼任	講師	江島 宏隆	平成27年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ						
兼任	講師	アントニオ ジャンビッコロ	平成27年4月	イタリア語Ⅰ イタリア語Ⅱ イタリア語Ⅲ イタリア語Ⅳ イタリア語Ⅴ イタリア語Ⅵ						
兼任	講師	矢田 陽子	平成27年4月	スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ スペイン語圏文化論	兼任	講師	山浦 アンヘラ	平成27年4月	スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ スペイン語圏文化論	平成27年3月 矢田陽子講師辞任のため平成 27年度より担当者の変更 (27)
兼任	講師	徐 佳佳	平成27年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						
兼任	講師	角屋 明彦	平成27年4月	中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 中国語圏文化論						
兼任	講師	大坪 祐子	平成27年4月	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 韓国語Ⅲ 韓国語Ⅳ						
兼任	講師	沈 永三	平成27年4月	韓国語Ⅲ 韓国語Ⅳ 韓国語圏文化論						
兼任	講師	熊木 淳	平成27年4月	フランス語圏文化論						
兼任	講師	中島 三知子 [小林 三知子]	平成27年4月	中国語圏文化論			後任なし			平成27年3月 中島三知子講師辞任 (27) 「中国語圏文化論」は、他に 担当教員が1名いるため、支 障はない。
兼任	講師	坂田 晶子	平成27年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	諏訪 美智子 [小山 美智子]	平成27年4月	日本語Ⅱ 日本語Ⅳ						
兼任	講師	品川 なぎさ	平成27年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ						
兼任	講師	中野 てい子	平成27年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ						
兼任	講師	橋本 雄太郎	平成27年4月	法と社会						
兼任	講師	日野 勝吾	平成27年4月	法と社会						
兼任	講師	時本 楠緒子	平成27年4月	人間の心理						
兼任	講師	谷戸 基岩	平成27年4月	クラシック音楽 人間と文化特演（クラ シック音楽）						
兼任	講師	平 辰彦	平成27年4月	演劇と舞台芸術						
兼任	講師	高橋 光輝	平成27年4月	情報化と社会			後任未定			平成27年3月 高橋光輝講師辞任。平成27年 10月採用で公募予定。（27）
兼任	講師	寺井 融	平成27年4月	ジャーナリズム 現代の諸相特演（ジャーナリズム）						
兼任	講師	橋本 博文	平成27年4月	コミュニケーションの 心理			後任未定			平成27年3月 橋本博文講師辞任のため前期 未開講。平成27年10月採用で 公募予定。（27）
兼任	講師	中野 薫	平成27年4月	エンタテインメント企 画制作 現代の諸相特演（エン タテインメント企画制 作）						
兼任	講師	矢野 光	平成27年4月	現代社会と経済 現代の諸相特演（現代 社会と経済）						
兼任	講師	門松 秀樹	平成27年4月	現代社会と政治 現代の諸相特演（現代 社会と政治）						
兼任	講師	大澤 昭則	平成27年4月	地球と環境 現代の諸相特演（地球 と環境）						
兼任	講師	松本 泰生	平成27年4月	都市と建築 現代の諸相特演（都市 と建築）						
兼任	講師	乳井 瑞代 [間宮 瑞代]	平成28年4月	テーマパーク論Ⅰ テーマパーク論Ⅱ						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	小林 範子	平成28年4月	都市と芸術 都市と芸術特演	兼任	講師	小林 範子	平成27年4月	都市と芸術 都市と芸術特演	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	平良木 節	平成27年4月	ビューティ文化	兼任	講師	小山 知子	平成27年4月	ビューティ文化	平成27年3月 平良木節講師辞任のため平成 27年度より担当者の変更 (27)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A0教員審査)を受けてください。**A0教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

<芸術情報学部 音楽応用学科>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	西 和彦	平成27年4月	起業論 会計&経営モデル演習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究	専	教授	西 和彦	平成27年4月	起業論 会計&経営モデル演習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究 音楽構造論Ⅰ	麻倉怜士講師就任遅延のため 担当変更 (27)
専	教授	古山 俊一	平成27年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専攻実技Ⅰ 専攻実技Ⅱ 映像リテラシー コンピュータ音楽Ⅰ コンピュータ音楽Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 専攻実技Ⅲ 専攻実技Ⅳ 電子楽器概論 コンピュータ音楽Ⅲ コンピュータ音楽Ⅳ 専攻実技Ⅴ 専攻実技Ⅵ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究	専	教授	古山 俊一	平成27年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専攻実技Ⅰ 専攻実技Ⅱ コンピュータ音楽Ⅰ コンピュータ音楽Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 専攻実技Ⅲ 専攻実技Ⅳ 電子楽器概論 コンピュータ音楽Ⅲ コンピュータ音楽Ⅳ 専攻実技Ⅴ 専攻実技Ⅵ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究	教員見直し (27) 「基礎演習Ⅰ」は、他に担当 教員が2名いるため、支障は ない。 } 教員見直し (27) 「専 攻実技Ⅰ」「専攻実技 Ⅱ」は、他に担当教員 が各5名いるため、支 障はない。
					兼任	講師	東 和信	平成27年4月	映像リテラシー	
					兼任	講師	漢那 拓也	平成27年4月	映像リテラシー	
専	教授	檜山 乃武	平成27年4月	音楽企画概論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ サブカルチャー研究Ⅱ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 出版編集研究 コマーシャル研究 音楽ビジネスE 音楽ビジネスF 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	緒方 庶史	平成27年4月	著作権法 芸術職業論 著作権概論 音楽ビジネスB 音楽ビジネスC 基礎演習Ⅲ 知的財産権入門 インターンシップⅠ インターンシップⅡ 音楽ビジネスE 音楽ビジネスF 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	竹内 誠	平成27年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専攻実技Ⅰ 専攻実技Ⅱ ミュージック・セオリー ハーモニック・セオリーⅠ ハーモニック・セオリーⅡ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 専攻実技Ⅲ 専攻実技Ⅳ インターンシップⅠ インターンシップⅡ メディア作品分析Ⅰ メディア作品分析Ⅱ ハーモニック・セオリーⅢ ハーモニック・セオリーⅣ ハーモニック・セオリーⅤ 専攻実技Ⅴ 専攻実技Ⅵ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ ハーモニック・セオリーⅥ 卒業研究	専	准教授	竹内 誠	平成27年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専攻実技Ⅰ 専攻実技Ⅱ ミュージック・セオリー ハーモニック・セオリーⅠ ハーモニック・セオリーⅡ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 専攻実技Ⅲ 専攻実技Ⅳ インターンシップⅠ インターンシップⅡ メディア作品分析Ⅰ メディア作品分析Ⅱ ハーモニック・セオリーⅢ ハーモニック・セオリーⅣ ハーモニック・セオリーⅤ 専攻実技Ⅴ 専攻実技Ⅵ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ ハーモニック・セオリーⅥ 卒業研究	担当教員見直し(27) 「専攻実技Ⅰ」「専攻実技Ⅱ」は、他に担当教員が各5名いるため、支障はない。
専	准教授	八木 良太	平成27年4月	ポピュラー音楽 録音表現概論 音楽ビジネスA サブカルチャー研究Ⅰ 音楽ビジネスD インターンシップⅠ インターンシップⅡ 音楽ビジネスE 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究						
専	准教授	中島 宏	平成27年4月	物理音響学Ⅰ 物理音響学Ⅱ アナログ音源論 デジタル音源論 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究						
専	講師	渋谷 由香 [渡邊 由香]	平成27年4月	イヤー・トレーニングⅠ イヤー・トレーニングⅡ イヤー・トレーニングⅢ イヤー・トレーニングⅣ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究						
兼任	教授	鳴海 史生 [大内 史生]	平成27年4月	西洋音楽史Ⅰ 西洋音楽史Ⅱ イヤー・トレーニングⅠ イヤー・トレーニングⅡ ハーモニック・セオリーⅠ ハーモニック・セオリーⅡ 西洋文化と諸芸術	兼任	教授	鳴海 史生 [大内 史生]	平成27年4月	西洋音楽史Ⅰ 西洋音楽史Ⅱ イヤー・トレーニングⅠ イヤー・トレーニングⅡ イヤー・トレーニングⅢ イヤー・トレーニングⅣ ハーモニック・セオリーⅠ ハーモニック・セオリーⅡ 西洋文化と諸芸術	担当教員見直し(27) 「イヤー・トレーニングⅠ」「イヤー・トレーニングⅡ」及び「ハーモニック・セオリーⅠ」は、他に担当教員が各2名いるため、支障はない。
兼任	教授	馬場 哲夫	平成27年4月	音響リテラシー 録音制作演習Ⅰ 録音制作演習Ⅱ	兼任	教授	馬場 哲夫	平成27年4月	録音制作演習Ⅰ 録音制作演習Ⅱ	
					兼任	講師	漢那 拓也	平成27年4月	音響リテラシー	担当教員見直し(27)
兼任	教授	高田 順三	平成27年4月	会計&経営モデル演習						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	東 和信	平成27年4月	音響リテラシー 専攻実技Ⅰ 専攻実技Ⅱ コンピュータ音楽Ⅰ コンピュータ音楽Ⅱ 専攻実技Ⅲ 専攻実技Ⅳ コンピュータ音楽Ⅲ コンピュータ音楽Ⅳ 専攻実技Ⅴ 専攻実技Ⅵ	兼任	講師	東 和信	平成27年4月	音響リテラシー コンピュータ音楽Ⅰ コンピュータ音楽Ⅱ 専攻実技Ⅲ 専攻実技Ⅳ コンピュータ音楽Ⅲ コンピュータ音楽Ⅳ 専攻実技Ⅴ 専攻実技Ⅵ 映像リテラシー	担当教員見直し (27) 「コンピュータ音楽Ⅰ」「コンピュータ音楽Ⅱ」は、他に担当教員が各1名いるため、支障はない 担当教員見直し (27)
					兼任	講師	田頭 勉	平成27年4月	専攻実技Ⅰ 専攻実技Ⅱ	担当教員見直し (27)
兼任	講師	佐藤 英世	平成27年4月	知的財産権入門	兼任	講師	佐藤 英世	平成28年4月	知的財産権入門	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	松山 誠	平成27年4月	音楽著作権 ビジネス著作権 ライブ & エンタテインメントの著作権						
兼任	講師	原 晋	平成27年4月	コマーシャル研究	兼任	講師	原 晋	平成28年10月	コマーシャル研究	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	外山 和彦	平成27年4月	専攻実技Ⅰ 専攻実技Ⅱ 専攻実技Ⅲ 専攻実技Ⅳ メディア作品分析Ⅰ メディア作品分析Ⅱ 専攻実技Ⅴ 専攻実技Ⅵ DAW活用研究Ⅰ DAW活用研究Ⅱ						
兼任	講師	本田 洋一郎	平成27年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専攻実技Ⅰ 専攻実技Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 専攻実技Ⅲ 専攻実技Ⅳ 専攻実技Ⅴ 専攻実技Ⅵ	兼任	講師	本田 洋一郎	平成27年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専攻実技Ⅰ 専攻実技Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 専攻実技Ⅲ 専攻実技Ⅳ 専攻実技Ⅴ 専攻実技Ⅵ	担当教員見直し (27) 「基礎演習Ⅰ」は、他に担当教員が2名いるため、支障はない。
兼任	講師	久木山 直	平成27年4月	専攻実技Ⅰ 専攻実技Ⅱ コンピュータ音楽Ⅰ コンピュータ音楽Ⅱ 専攻実技Ⅲ 専攻実技Ⅳ コンピュータ音楽Ⅲ コンピュータ音楽Ⅳ 専攻実技Ⅴ 専攻実技Ⅵ	兼任	講師	久木山 直	平成27年4月	専攻実技Ⅰ 専攻実技Ⅱ コンピュータ音楽Ⅰ コンピュータ音楽Ⅱ 専攻実技Ⅲ 専攻実技Ⅳ コンピュータ音楽Ⅲ コンピュータ音楽Ⅳ 専攻実技Ⅴ 専攻実技Ⅵ	担当教員見直し (27) 「専攻実技Ⅰ」「専攻実技Ⅱ」は、他に担当教員が各5名いるため、支障はない。 担当教員見直し (27) 「コンピュータ音楽Ⅰ」「コンピュータ音楽Ⅱ」は、他に担当教員が各1名いるため、支障はない。
兼任	講師	佐藤 賢太郎	平成27年4月	専攻実技Ⅰ 専攻実技Ⅱ 専攻実技Ⅲ 専攻実技Ⅳ 専攻実技Ⅴ 専攻実技Ⅵ						
兼任	講師	秋山 公良	平成27年4月	ミュージック・セオリー 専攻実技Ⅰ 専攻実技Ⅱ 専攻実技Ⅲ 専攻実技Ⅳ 専攻実技Ⅴ 専攻実技Ⅵ						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	歳森 今日子	平成27年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ イヤー・トレーニングⅠ イヤー・トレーニングⅡ ハーモニック・セオリーⅠ ハーモニック・セオリーⅡ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ イヤー・トレーニングⅢ イヤー・トレーニングⅣ ハーモニック・セオリーⅢ ハーモニック・セオリーⅣ	兼任	講師	歳森 今日子	平成27年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ イヤー・トレーニングⅠ イヤー・トレーニングⅡ ハーモニック・セオリーⅠ ハーモニック・セオリーⅡ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ イヤー・トレーニングⅢ イヤー・トレーニングⅣ ハーモニック・セオリーⅢ ハーモニック・セオリーⅣ	担当教員見直し (27) 「基礎演習Ⅰ」は、他に担当教員が2名いるため、支障はない。
兼任	講師	三上 直子	平成27年4月	ハーモニック・セオリーⅠ ハーモニック・セオリーⅡ ハーモニック・セオリーⅢ ハーモニック・セオリーⅣ	兼任	講師	三上 直子	平成27年4月	ハーモニック・セオリーⅠ ハーモニック・セオリーⅡ ハーモニック・セオリーⅢ ハーモニック・セオリーⅣ ミュージック・セオリー	担当教員見直し (27) 「ハーモニック・セオリーⅠ」は、他に担当教員が2名いるため、支障はない。 担当教員追加 (27)
兼任	講師	柳原 福良	平成27年4月	出版編集ソフト演習	兼任	講師	柳原 福良	平成27年10月	出版編集ソフト演習	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	高野 修平	平成27年4月	ソーシャルメディアと音楽	兼任	講師	高野 修平	平成28年4月	ソーシャルメディアと音楽	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	小杉 茂	平成27年4月	マネージメント心理学	兼任	講師	小杉 茂	平成28年4月	マネージメント心理学	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	蓮沼 健	平成27年4月	コンサートビジネス演習	兼任	講師	蓮沼 健	平成28年10月	コンサートビジネス演習	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	宮入 恭平	平成27年4月	音楽と社会 ポピュラー音楽史 ライブハウス文化論						
兼任	講師	麻倉 怜士	平成27年4月	音楽構造論Ⅰ 音楽構造論Ⅱ 映像論 映像音響論	兼任	講師	麻倉 怜士	平成27年10月	音楽構造論Ⅱ 映像論 映像音響論	都合により就任が遅延 (27)
					専	教授	西 和彦	平成27年4月	音楽構造論Ⅰ	麻倉怜士講師就任遅延のため担当変更 (27)
兼任	講師	大森 渚	平成27年4月	基礎演習Ⅳ						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					年 齢 構 成		年齢構成（前年度の状況）	
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
4	3	1	0	8	4	3	1	0	8	65	0	—	—
(4)	(3)	(1)	(0)	(8)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	歳	名	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・「年齢構成（前年度の状況）」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「—」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
		該当なし	

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (27年5月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

＜芸術情報学部 音楽応用学科＞

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 入学者選抜 a A○入試(30名)【1～3期】 b 指定校・公募推薦入試(20名) 【指定校1～3期・公募1期】 c 一般入試・特待生入試(20名) 【一般A～C日程・特待生1～2期】 d 留学生入試(若干名)【A～B日程】 ② 教学面の管理運営(教授会の審議事項) 教授会は、学則第14条第3項の事項並びに理事会及び代議員会が諮問した事項を審議する。 ・学則第14条第3項の事項 (1)教育研究の基本方針に関する事項 (2)教育課程及び履修方式に関する事項 (3)学則その他重要な規程に関する事項 (4)専任教育職員の人事に関する事項 (5)客員教授、客員研究員、非常勤講師の委嘱に関する事項 (6)教育職員の資格審査に関する事項 (7)教育職員の留学及び派遣に関する事項 (8)学生の入学、退学、除籍、転学、留学、休学、復学及び卒業等に関する事項 (9)定期試験及び追再試験等に関する事項 (10)学生の指導及び賞罰に関する事項 (11)学長又は学部長が諮問した事項 (12)その他教授会において必要と認めた学部運営に関する重要な事項 ③ 教学面の管理運営(教授会以外に関連する委員会等) a 代議員会 b 自己点検・評価委員会 c 教員任用委員会 d 教務委員会 e 学生・国際交流委員会 f キャリア・インターンシップ委員会 g メディア・紀要委員会 h 学生募集・入学試験委員会	① 応募の機会を増やし、より優秀な人材を確保するため、以下のとおり試験日程を追加した。 a A○入試に4期を追加した。 d 留学生入試にC日程を追加した。 e 帰国生徒入試(若干名)【A～C日程】を追加した。 試験内容：日本国外での就学経験を持ち、本学科での学習に必要な基礎的学力と資質、意欲を持つ人物を、書類選考、面接により選考する。 f 社会人入試(若干名)【A～C日程】を追加した。 試験内容：三年以上の就業経験を持ち、本学科での学習に必要な基礎的学力と資質、意欲を持つ人物を、書類選考、面接により選考する。 ② 学校教育法の一部改正に伴い、学則及び教授会規程を改定し教授会の審議事項等を以下のとおりとした。 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。 (1)学生の入学、卒業及び学位の授与に関する事項 (2)その他当該学部に係る教育又は研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの 2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長(以下「学長等」という。)がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。 また、当該学部に係る教育又は研究に関する重要な事項で、学長が教授会の意見を聴くことが必要なものについて、学長裁定として以下のとおり定めた。 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。 (1)教育課程の編成に関する事項 (2)教員及び教員候補者の教育研究業績の審査に関する事項 (3)学生の退学、転学、留学、休学、復学に関する事項 (4)学生の懲戒に関する事項 ③ 組織体制の見直しに伴い、以下のとおり変更した。 a 代議員会規程を改定、会議体名称を「教育研究評議会」に変更した。 d～h 各委員会規程を改定、学部設置ではなく全学委員会とした。 e 学生・国際交流委員会を機能分化のため「学生委員会」と「国際交流委員会」とした。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

現在、教員の資質の維持向上の方策としての具体的な専門委員会は設置していないが、教育研究評議会において、FD活動の一環として、学部学科の目的、教育内容・方法について組織的な研修を実施し、教員の教育研究、指導能力の向上を図っている。また、教育活動の評価体制の一環として、学生からの授業評価アンケートを実施。その結果を各授業担当教員にフィードバックし、授業改善を行うなど、全学的な取組を実施している。しかしながら今後の取組として、より充実した活動を行うべく、新たに専門委員会を設置する方向で検討中である。

また、ハラスメントの防止等に関する事項については、ハラスメント防止対策委員会を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

ハラスメント防止対策委員会については、平成27年度中に開催予定。

c 委員会の審議事項等

設置検討中の専門委員会では、教育研究に関する事項（基本方針及び実施体制、FD活動、教育内容・方法の改善及び支援等）を中心に、今後の教員の資質の維持向上の方策について審議する。

また、ハラスメント防止対策委員会においては、ハラスメントの防止等に関する事項の審議を行う。

② 実施状況

a 実施内容

以下の研修等の実施を検討している。

- ・ 新任教員研修
- ・ ハラスメントに関する研修
- ・ 教育内容・方法の改善等に関する教員研修
- ・ 教員相互の授業参観による教員研究活動評価

b 実施方法

専任教員を対象に実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

年1～2回程度を予定している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修での提案、意見を踏まえ、具体的な教授方法の改善や授業内容の見直し等を行い、教員の資質向上へと反映させていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学期終了後に実施予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

平成27年度具体的実施に向け、教育研究評議会において検討を行っている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的については当初の設定通り実現しつつあるが、今後も新たな課題への取組や問題点の改善に努め、設置の趣旨に沿った教育研究の維持向上を目指していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・未定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成27年度に公益財団法人日本高等教育評価機構の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ ☒ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27年5月末予定)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人尚美学園

(2) 大 学 名

尚美学園大学

(3) 大学の位置

〒350-1110
埼玉県川越市豊田町1丁目1番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(マツダ ヨシユキ) 松田 義幸 (平成21年4月)		
学 長	(タナベ トシノリ) 田邊 敏憲 (平成26年4月)		
学 部 長	(ミナガワ ヒロシ) 皆川 弘至 (平成18年4月)		
学 科 長	(ナギ タカシ) 奈木 隆 (平成27年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成 2 5 年度に報告済の内容 → (25)

平成 2 7 年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は、平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設 置 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
芸術情報学部 音楽応用学科 学士(芸術情報)	4 年	70 人	— 年次 人	280 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 提出年度までの 平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	70 (—) [—]	人	人	人	人	人	人	人	1.28倍	— 倍	
志願者数	136 (—) [5]	— (—) [—]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	135 (—) [5]	— (—) [—]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	99 (—) [5]	— (—) [—]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	90 (—) [4]	— (—) [—]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	1.28										

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について **外数** で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[4] (-) 90	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次							[] ()	[] ()	
計							[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	90 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		%
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
合 計	90 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜芸術情報学部 舞台表現学科＞

（１）授業科目表

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					備考	
					必修	選択自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教育学人間基礎力	養育	自己表現とコミュニケーション キャリアと自己形成 古典的名作の世界 知の冒険 基礎就業力養成ゼミナールA 基礎就業力養成ゼミナールB 基礎就業力養成ゼミナールC コーラスA コーラスB 生涯スポーツ論 スポーツ表現A（バスケットボール） スポーツ表現B（バドミントン） スポーツ表現C（サッカー） スポーツ表現D（テニス） スポーツ表現E（卓球） スポーツ表現F（ソフトボール）	1前・後		2							兼1	平成27年3月担当教員辞任のため 前期未開講。平成27年10月採用で公募予定。（27） <

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
教 学 異 文 化 の 理 解 力 カ カ	異 文 化 の 理 解	イタリア語Ⅵ	3後		1								兼1		
		スペイン語Ⅰ	1前		1								兼1		
		スペイン語Ⅱ	1後		1								兼1		
		スペイン語Ⅲ	2前		1								兼1		
		スペイン語Ⅳ	2後		1								兼1		
		中国語Ⅰ	1前		1								兼1		
		中国語Ⅱ	1後		1								兼1		
		中国語Ⅲ	2前		1								兼1		
		中国語Ⅳ	2後		1								兼1		
		韓国語Ⅰ	1前		1								兼1		
		韓国語Ⅱ	1後		1								兼1		
		韓国語Ⅲ	2前		1								兼2		
		韓国語Ⅳ	2後		1								兼2		
		英語圏文化論	1前・後		2								兼1		
		ドイツ語圏文化論	1前・後		2								兼1		
		フランス語圏文化論	1前・後		2								兼1		
		スペイン語圏文化論	1前・後		2								兼1		
	異 文 化 の 理 解 力	中国語圏文化論	1前・後		2								兼1 兼2	平成27年3月担当教員1名辞任（27）	
		韓国語圏文化論	1前・後		2								兼1		
		日本語Ⅰ	1前		2								兼3		
		日本語Ⅱ	1後		2								兼4		
		日本語Ⅲ	2前		2								兼3		
		日本語Ⅳ	2後		2								兼4		
		日本文化論	1前・後		2								兼1		
		日本語能力試験対策講座	1前・後		2								兼1		
	人 間 と 文 化	哲学	1前・後		2								兼1		
		法と社会	1前		2								兼2		
		社会と人間	1前		2								兼1		
		人間の心理	1前・後		2								兼2		
		文化人類学	1前・後		2								兼1		
		暮らしと文化	1後		2								兼1		
		音楽と社会	1前・後		2								兼1		
		スポーツと社会	1後		2								兼2		
		クラシック音楽	1前・後		2								兼1		
		文学	1前・後		2								兼1		
文学（日本文学）		1前・後		2								兼1			
美術		1前・後		2								兼2			
演劇と舞台芸術		1前・後		2								兼1			
歴史		1後		2								兼1			
人間と文化特演（日本文学）		1前・後		2								兼1			
人間と文化特演（クラシック音楽）		1後		2								兼1			
現 代 の 諸 目		情報化と社会	1後		2								0 兼1		平成27年3月担当教員辞任。平成27年10月採用で公募予定。（27）
		ジャーナリズム	1前		2								兼1		
	著作権	1前・後		2								兼1			
	コミュニケーションの心理	未開講 1前・後		2								0 兼1	平成27年3月担当教員辞任のため 前期未開講。平成27年10月採用で公 募予定。（27）		
	エンタテインメント企画制作	1前・後		2								兼1			
	ポピュラー音楽	1前・後		2			1								
	日本国憲法	1後		2								兼1			
	アート・マネジメント	1前・後		2								兼2			
	異文化コミュニケーション	1前・後		2								兼1			
	現代社会と経済	1前・後		2								兼1			
	現代社会と政治	1前		2								兼1			
	地球と環境	1前・後		2								兼1			
	現代の企業経営	1後		2								兼1			

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
教 養 科 目	現 代 の 諸 相	現代の国際社会	1前		2							兼1		
		都市と建築	1前・後		2							兼1		
		スポーツ国際支援	1前		2							兼1		
		現代の諸相特演（エンタテインメント企画制作）	1前・後		2							兼1		
		現代の諸相特演（ジャーナリズム）	1後		2							兼1		
		現代の諸相特演（アート・マネジメント）	1後		2							兼1		
		現代の諸相特演（都市と建築）	1後		2							兼1		
		現代の諸相特演（著作権）	1後		2							兼1		
		現代の諸相特演（地球と環境）	1後		2							兼1		
		現代の諸相特演（現代社会と政治）	1後		2							兼1		
		現代の諸相特演（現代社会と経済）	1後		2							兼1		
	知 と 美 の 饗 宴	西洋文化と諸芸術	2後		2							兼2		
		テーマパーク論Ⅰ	2前		2							兼1		
		テーマパーク論Ⅱ	2後		2							兼1		
		都市と芸術	2前		2							兼1		
		都市と芸術特演	2前		2							兼1		
		ビューティ文化	2前・後		2							兼1		
芸 術 情 報 学 部 専 門 科 目	学 部 共 通 科 目	コンピュータ概説	1前		2							兼1		
		芸術職業論	1後	2		1								
		音楽基礎論	1前・後		2							兼1		
		音響基礎論	1前		2							兼1		
		映像基礎論	1後		2							兼1		
		デザインの基礎	1前・後		2							兼1		
		M I D I 演習	1前・後		1							兼1		
		西洋音楽史Ⅰ	1前・後		2							兼2		
		西洋音楽史Ⅱ	1前・後		2							兼2		
		ポピュラー音楽史	1前・後		2							兼1		
	学 部 共 通 科 目	日本音楽史	1前・後		2							兼1		
		日本芸能史	1前・後		2							兼1		
		諸民族の音楽	1前・後		2							兼1		
		音楽美学	1前・後		2							兼1		
		空間芸術論	1前		2							兼1		
		美学	1前・後		2							兼2		
		人間と色彩	1前		2							兼1		
		映画論	1前・後		2							兼1		
		録音表現概論	1前・後		2			1						
		情報通信	1後		2							兼1		
	学 部 専 門 科 目	著作権法	1前		2		1							
		情報法制	1前・後		2							兼1		
		音楽企画概論	1前・後	2		1								
		舞台芸術運営論	1前・後		2							兼1		
		音楽療法概論	1前・後		2							兼1		
		音楽療法演習	1前・後		1							兼1		
		デジタル印刷表現	1前		2							兼1		
		簿記論	1前		2							兼1		
		マーケティングリサーチ	1後		2							兼1		
		マルチメディア制作	1前		1							兼1		
		ヴィジュアル表現基礎Ⅰ	1前		2							兼1		
		ヴィジュアル表現基礎Ⅱ	1後		2							兼1		
		認知心理学A	1前		2							兼1		
		認知心理学B	1後		2							兼1		
		感性音響学	2前・後		2							兼1		

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数			専任教員等の配置					備 考	
					必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
芸 術 情 報 学 部	舞 台 表 演 科	基 礎	芸術概論	1前・後	2				1					兼1 履修希望者なしのため前期未開講 (27)
			美術論	未開講 1前→後	2									
			デッサン基礎実習	未開講 1前→後	1			1						
			立体造形基礎	未開講 1前→後	1									
		基 礎	ソルフェージュ基礎実習	1前・後	1		1	1	1				兼1 履修希望者なしのため前期未開講 (27)	
			日本美術史	1前・後	2			1						
			西洋美術史	1前・後	2									
			身体表現概論	1前	2		0 +							
			身体表現論A	1後	2		0 +							
			身体表現論B	1後	2			1	0 +					
		目 的	身体表現論C	1後	2		0 +	1					兼1 入学者増に伴う担当科目割振見直し (27)	
			音声生理学	1前	2									
			劇場文化論	2前・後	2									
			人間科学論	2前・後	2									
	現 演 劇 部	演 劇 科	演劇史Ⅰ	1前		2								兼1 担当教員見直し (27)
			演劇史Ⅱ	1後		2								
			演技論Ⅰ	2前		2		1						
			演技論Ⅱ	2後		2		1						
			演劇表現基礎演習Ⅰ	1前	2			1 2						
			演劇表現基礎演習Ⅱ	1後	2			2						
演劇表現基礎演習Ⅲ			2前		2		1							
演劇表現基礎演習Ⅳ			2後		2		1							
演劇表現演習Ⅰ			3前		2									
演劇表現演習Ⅱ			3後		2		1							
演劇特殊研究A			3前		2									
演劇特殊研究B			3後		2									
舞 踊 科		舞踊史Ⅰ	1前		2				1				兼1 入学者増に伴う担当科目割振見直し (27)	
		舞踊史Ⅱ	1後		2									
		舞踊論Ⅰ	2前		2									
		舞踊論Ⅱ	2後		2									
	舞踊表現基礎演習Ⅰ	1前	2			0 +	1							
	舞踊表現基礎演習Ⅱ	1後	2			0 +	1							
	舞踊表現基礎演習Ⅲ	2前		2			1							
	舞踊表現基礎演習Ⅳ	2後		2			1							
ミ ュ ー ジ カ ル 科	ミュージカル史Ⅰ	1前		2		0 +	1					2 兼3 担当教員見直し (27)		
	ミュージカル史Ⅱ	1後		2		0 +	1							
	ミュージカル表現基礎演習Ⅰ	1前		2		1 2	0 +							
	ミュージカル表現基礎演習Ⅱ	1後		2		2	1							
	ミュージカル表現基礎演習Ⅲ	2前		2		2	3							
	ミュージカル表現基礎演習Ⅳ	2後		2		2	3							
	ミュージカル表現演習Ⅰ	3前		2		1	2							
	ミュージカル表現演習Ⅱ	3後		2		1	2							

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数				専任教員等の配置						備 考	
					必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
芸 術 情 報 学 部 専 門 科 目	舞 台 運 営	舞台美術論	2前・後		2									兼1		
		舞台美術演習	2前・後		2									兼1		
		図面制作実習	2前・後		1									兼1		
		舞台衣裳研究	2後		2									兼1		
		舞台装置研究	2前		2									兼1		
		舞台装置演習	2後		2									兼1		
		舞台技術研究	2前		2									兼1		
		舞台技術演習	2後		2									兼1		
		舞台照明研究	2前		2									兼1		
		舞台照明演習	2後		2									兼1		
		舞台音響・音響効果研究	2前		2									兼1		
		舞台音響・音響効果演習	2後		2									兼1		
現 展 開 科 目	舞台表現演習ⅠA	2前		2		1							兼1			
	舞台表現演習ⅠB	2前		2				1					兼1			
	舞台表現演習ⅠC	2前		2		1	2									
	舞台表現演習ⅡA	2後		2		1							兼1			
	舞台表現演習ⅡB	2後		2				1					兼1			
	舞台表現演習ⅡC	2後		2		1	2									
	舞台応用芸術論	3前・後		2					1							
	舞台芸術教育論	3前・後		2					1							
	舞台芸術批評論	2前・後		2									兼1			
	演出論Ⅰ	3前		2		1										
	演出論Ⅱ	3後		2		1										
	戯曲論	3前		2									兼1			
劇 作 演 習 目 録	劇作論	3前・後		2									兼1			
	劇作演習	3後・4前		2									兼1			
	プロデュース研究	3前・後		2		1										
	プロデュース演習	3後・4前		2		1										
	古典芸能基礎演習Ⅰ	2前		2									兼2			
	古典芸能基礎演習Ⅱ	2後		2									兼2			
	古典芸能研究Ⅰ	3前・後		2									兼1			
	古典芸能研究Ⅱ	3後・4前		2									兼1			
	遊戯論	3後・4前		2									兼1			
	キャリア インターンシップⅠ	2・3前		2									兼1			
	キャリア インターンシップⅡ	2・3後		2									兼1			
	ゼミ ナール	総合演習Ⅰ	3前		2		3	2	1							
総合演習Ⅱ		3後		2		3	2	1								
卒業研究		4通	4			3	2	1								

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目 16	科目 220	科目 0	科目 236	科目 16	科目 220	科目 0	科目 236	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	古典的名作の世界	2	1前	一般	選択	平成27年3月担当教員辞任のため前期未開講。後任未定（公募予定）。(27)
2	コミュニケーションの心理	2	1前	一般	選択	平成27年3月担当教員辞任のため前期未開講。後任未定（公募予定）。(27)

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成27年度未開講科目については、兼任講師辞任により止む無く前期を未開講としたが、学生への影響が最小限となるよう、後期開講に向け手配を進めている。
学生に対しては、時間割に掲載しないことで周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}}$	=	0.00
---	---	------

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	82,118.62 m ²	0 m ²	0 m ²	82,118.62 m ²				
	運動場用地	27,290.96 m ²	0 m ²	0 m ²	27,290.96 m ²				
	小 計	109,409.58 m ²	0 m ²	0 m ²	109,409.58 m ²				
	そ の 他	9,389.42 m ²	0 m ²	0 m ²	9,389.42 m ²				
	合 計	118,799.00 m ²	0 m ²	0 m ²	118,799.00 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	新校舎完成に伴う誤差 調整のため (27)			
		35,277.77 m ² 35,282.88 m ² 35,277.77 m ² (35,282.88 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	35,277.77 m ² 35,282.88 m ² 35,277.77 m ² (35,282.88 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 講義室1室を演習室に 改修し、新たに演習室 3室を増設したため (27)		
		39 室 40 室	34 室 30 室	136 室	5 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		芸術情報学部 舞台表現学科			11 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学科単位での特定不能 なため、大学全体の数 4/1開設時予定数と5/1 現在の数値の差 (27)	
	芸術情報学部 舞台表現学科	175,961 [32,687] (159,505 [31,767]) (156,599 [31,487])	968 [117] (956 [141]) (956 [113])	1,025 [410] (1,018 [403])	34,761 (30,706) (28,836)	0 (0)	0 (0)		
	計	175,961 [32,687] (159,505 [31,767]) (156,599 [31,487])	968 [117] (956 [141]) (956 [113])	1,025 [410] (1,018 [403])	34,761 (30,706) (28,836)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		2,736.78 m ²		302		186,308			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		3,485.98 m ²		武道場		トレーニングルーム			
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体 図書費には電子ジャー ナル・データベースの整備費 (運用コスト含む)を含 む。
		教員 1 人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円	
		共 同 研 究 費 等	5,000千円	3,000千円	設備購入費	30,000千円	10,000千円	5,000千円	
	学生 1 人当 り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,850千円	1,480千円	1,480千円	1,480千円	－ 千円	－ 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、寄付金収入、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学 学 校 名 称	尚 美 学 園 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
芸術情報学部	年	人	年次 人	人		倍			
情報表現学科	4	160	3年次 30	700	学士 (芸術情報)	1.25	平成12年度	埼玉県川越市豊田町 1丁目1番地1	
音楽表現学科	4	100	3年次 20	560	学士 (芸術情報)	0.95	平成12年度	同上	
音楽応用学科	4	70	－	70	学士 (芸術情報)	1.25	平成27年度	同上	
舞台表現学科	4	70	－	70	学士 (芸術情報)	1.28	平成27年度	同上	
総合政策学部									
総合政策学科	4	100	－	640	学士 (総合政策)	0.75	平成12年度	同上	
ライフマネジメント学科	4	160	－	700	学士 (総合政策)	1.16	平成19年度	同上	
大学 学 校 名 称	尚 美 学 園 大 学 大 学 院								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
芸術情報研究科	年	人	年次 人	人		倍			
情報表現専攻	2	10	－	20	修士 (情報表現)	0.75	平成18年度	埼玉県川越市豊田町 1丁目1番地1	
音楽表現専攻	2	10	－	20	修士 (音楽表現)	1.05	平成18年度	同上	
総合政策研究科									
政策行政専攻	2	10	－	20	修士 (総合政策)	1.15	平成16年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<共通>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	恩田 憲一	平成27年4月	コンピュータ概説						
兼任	教授	緒方 庶史	平成27年4月	著作権法 芸術職業論						
兼任	教授	林 伸二	平成27年4月	音響基礎論						
兼任	教授	田村 和紀夫	平成27年4月	知の冒険 西洋音楽史Ⅰ 西洋音楽史Ⅱ 音楽美学 西洋文化と諸芸術						
兼任	教授	鳴海 史生 [大内 史生]	平成27年4月	西洋音楽史Ⅰ 西洋音楽史Ⅱ 西洋文化と諸芸術						
兼任	教授	四方 義昭	平成27年4月	データ構造論 情報通信						
兼任	教授	檜山 乃武	平成27年4月	音楽企画概論						
兼任	教授	華山 宣胤	平成27年4月	確率と統計基礎 マーケティングリサーチ						
兼任	教授	春口 巖	平成27年4月	マルチメディア制作						
兼任	教授	小泉 昌幸	平成27年4月	スポーツ表現C (サッカー) スポーツ表現F (ソフトボール)						
兼任	教授	定平 誠	平成27年4月	Webデザイン基礎 インターンシップⅠ インターンシップⅡ						
兼任	教授	伊達 雅彦	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語圏文化論 文学						
兼任	教授	萩野谷 悦子	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 異文化コミュニケーション						
兼任	教授	木村 啓子 [竹内 啓子]	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	教授	川島 真	平成27年4月	人間の心理						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	坂本 邦彦	平成27年4月	文化人類学						
兼担	教授	加藤 順一	平成27年4月	歴史 暮らしと文化						
兼担	教授	伊藤 雅之	平成27年4月	現代の企業経営						
兼担	教授	鐸木 昌之	平成27年4月	現代の国際社会						
兼担	准教授	金原 由紀子	平成27年4月	アート・マネジメント 美術 美学 美術論 西洋美術史	兼担	教授	金原 由紀子	平成27年4月	アート・マネジメント 美術 美学 美術論 西洋美術史	平成27年4月昇格 (27)
兼担	准教授	櫻村 雅章	平成27年4月	人間と色彩 映像基礎論						
兼担	准教授	八木 良太	平成27年4月	ポピュラー音楽 録音表現概論						
兼担	准教授	林 容子	平成27年4月	空間芸術論 美術 アート・マネジメント 現代の諸相特演 (アート・マ ジ'メント)						
兼担	准教授	木村 光太郎	平成27年4月	哲学 社会と人間 スポーツと社会						
兼担	准教授	角谷 淳	平成27年4月	文学 (日本文学) 人間と文化特演 (日本 文学)						
兼担	准教授	眞下 英二	平成27年4月	日本国憲法						
兼担	講師	須藤 智	平成27年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ	兼担	准教授	須藤 智	平成27年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ	平成27年4月昇格 (27)
兼担	講師	江頭 満正	平成27年4月	スポーツ国際支援 スポーツと社会						
兼担	助教	荒 まゆみ	平成27年4月	日本語能力試験対策講 座 日本文化論 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ						
兼任	講師	斎藤 弘美	平成27年4月	音楽基礎論						
兼任	講師	松本 俊行	平成27年4月	M I D I 演習						
兼任	講師	志村 かしわ	平成27年4月	日本音楽史						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	森重 行敏	平成27年4月	諸民族の音楽 日本芸能史						
兼任	講師	小口 順吾	平成27年4月	映画論	兼任	講師	太田 曜	平成27年4月	映画論	平成27年3月 小口順吾講師辞任のため平成 27年度より担当者の変更 (27)
兼任	講師	今西 頼太	平成27年4月	著作権 現代の諸相特演（著作 権） 情報法制						
兼任	講師	井上 眞次	平成27年4月	舞台芸術運営論						
兼任	講師	稲葉 千賀 [今中 千賀]	平成27年4月	音楽療法概論 音楽療法演習						
兼任	講師	山本 正記	平成27年4月	デジタル印刷表現						
兼任	講師	前川 道生	平成27年4月	簿記論						
兼任	講師	竹内 啓	平成27年4月	ヴィジュアル表現基礎 Ⅰ ヴィジュアル表現基礎 Ⅱ						
兼任	講師	織田 弥生 [上市 弥生]	平成27年4月	認知心理学A 認知心理学B						
兼任	講師	田部井 賢一	平成28年4月	感性音響学						
兼任	講師	早川 由美	平成27年4月	基礎就業力養成ゼミ ナールA 基礎就業力養成ゼミ ナールB 基礎就業力養成ゼミ ナールC 自己表現とコミュニ ケーション キャリアと自己形成						
兼任	講師	篠上 芳光	平成27年4月	基礎就業力養成ゼミ ナールA 基礎就業力養成ゼミ ナールB 基礎就業力養成ゼミ ナールC						
兼任	講師	天野 克彦	平成27年4月	古典的名作の世界			後任未定			平成27年3月 天野克彦講師辞任のため前期 未開講。平成27年10月採用で 公募予定。(27)
兼任	講師	仁階堂 孝	平成27年4月	コーラスA コーラスB						
兼任	講師	トンプソン 雅子	平成27年4月	生涯スポーツ論						
兼任	講師	城田 雅幸	平成27年4月	スポーツ表現A(バス ケットボール) スポーツ表現B(パドミ ントン) スポーツ表現E(卓 球)						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	檜山 康	平成27年4月	スポーツ表現C（サッカー）			後任なし			平成27年3月 檜山康講師辞任（27） 「スポーツ表現C（サッカー）」は、他に担当教員が1名いるため、支障はない。
兼任	講師	村井 友樹	平成27年4月	スポーツ表現D（テニス）			後任未定			平成27年3月 村井友樹講師辞任。平成27年10月採用で公募予定。（27）
兼任	講師	大塚 敏夫	平成27年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ						
兼任	講師	川本 勝	平成27年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ						
兼任	講師	小林 秀明	平成27年4月	情報学概論 情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ						
兼任	講師	吉野 明美	平成27年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ ビジネスプログラミングⅠ ビジネスプログラミングⅡ						
兼任	講師	定村 薫	平成27年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ						
兼任	講師	楠本 眞司	平成27年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ						
兼任	講師	斎藤 忍	平成27年4月	Webデザイン基礎						
兼任	講師	桑田 匡之	平成28年4月	データ分析法Ⅰ データ分析法Ⅱ	兼任	講師	桑田 匡之	平成27年4月	データ分析法Ⅰ データ分析法Ⅱ	配当年次に伴う修正（27）
兼任	講師	茂出木 敏雄	平成27年4月	情報システム概論						
兼任	講師	大味 潤	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	尖戸 カール	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	安井 健一郎	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	浅野 薫子	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	小原 弥生	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	高橋 優季	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	峯 麻依子	平成27年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	中橋 友子	平成27年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	平成27年3月 峯麻依子講師辞任のため平成 27年度より担当者の変更 (27)
兼任	講師	中村 美奈子	平成27年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	八木 慶太郎	平成27年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	平成27年3月 中村美奈子講師辞任のため平 成27年度より担当者の変更 (27)
兼任	講師	原田 英子	平成27年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	佐藤 正伸	平成27年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	ファイヤーズ カーン	平成27年4月	選択英語Ⅰ 選択英語Ⅱ 選択英語Ⅲ 選択英語Ⅳ						
兼任	講師	リチャード・S・ ロビンズ	平成27年4月	選択英語Ⅰ 選択英語Ⅱ 選択英語Ⅲ 選択英語Ⅳ	兼任	講師	ウェイン・F・ ハッチンス	平成27年4月	選択英語Ⅰ 選択英語Ⅱ 選択英語Ⅲ 選択英語Ⅳ	平成26年9月 リチャード・S・ロビンズ講師辞 任のため平成26年10月より担 当者の変更 (27)
兼任	講師	マイケル コーマック	平成27年4月	選択英語Ⅰ 選択英語Ⅱ 選択英語Ⅲ 選択英語Ⅳ						
兼任	講師	林 邦彦	平成27年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ ドイツ語圏文化論						
兼任	講師	江島 宏隆	平成27年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ						
兼任	講師	アントニオ ジャンピッコロ	平成27年4月	イタリア語Ⅰ イタリア語Ⅱ イタリア語Ⅲ イタリア語Ⅳ イタリア語Ⅴ イタリア語Ⅵ						
兼任	講師	矢田 陽子	平成27年4月	スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ スペイン語圏文化論	兼任	講師	山浦 アンヘラ	平成27年4月	スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ スペイン語圏文化論	平成27年3月 矢田陽子講師辞任のため平成 27年度より担当者の変更 (27)
兼任	講師	徐 佳佳	平成27年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						
兼任	講師	角屋 明彦	平成27年4月	中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 中国語圏文化論						
兼任	講師	大坪 祐子	平成27年4月	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 韓国語Ⅲ 韓国語Ⅳ						
兼任	講師	沈 永三	平成27年4月	韓国語Ⅲ 韓国語Ⅳ 韓国語圏文化論						
兼任	講師	熊木 淳	平成27年4月	フランス語圏文化論						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	中島 三知子 [小林 三知子]	平成27年4月	中国語圏文化論			後任なし			平成27年3月 中島三知子講師辞任（27） 「中国語圏文化論」は、他に 担当教員が1名いるため、支障 はない。
兼任	講師	坂田 晶子	平成27年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ						
兼任	講師	諏訪 美智子 [小山 美智子]	平成27年4月	日本語Ⅱ 日本語Ⅳ						
兼任	講師	品川 なぎさ	平成27年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ						
兼任	講師	中野 てい子	平成27年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ						
兼任	講師	橋本 雄太郎	平成27年4月	法と社会						
兼任	講師	日野 勝吾	平成27年4月	法と社会						
兼任	講師	宮入 恭平	平成27年4月	音楽と社会 ポピュラー音楽史						
兼任	講師	谷戸 基岩	平成27年4月	クラシック音楽 人間と文化特演（クラ シック音楽）						
兼任	講師	平 辰彦	平成27年4月	演劇と舞台芸術						
兼任	講師	高橋 光輝	平成27年4月	情報化と社会			後任未定			平成27年3月 高橋光輝講師辞任。平成27年 10月採用で公募予定。（27）
兼任	講師	寺井 融	平成27年4月	ジャーナリズム 現代の諸相特演 （ジャーナリズム）						
兼任	講師	橋本 博文	平成27年4月	コミュニケーションの 心理			後任未定			平成27年3月 橋本博文講師辞任のため前期 未開講。平成27年10月採用で 公募予定。（27）
兼任	講師	中野 薫	平成27年4月	エンタテインメント企 画制作 現代の諸相特演（エン タテインメント企画制 作）						
兼任	講師	矢野 光	平成27年4月	現代社会と経済 現代の諸相特演（現代 社会と経済）						
兼任	講師	門松 秀樹	平成27年4月	現代社会と政治 現代の諸相特演（現代 社会と政治）						
兼任	講師	大澤 昭則	平成27年4月	地球と環境 現代の諸相特演（地球 と環境）						
兼任	講師	松本 泰生	平成27年4月	都市と建築 現代の諸相特演（都市 と建築）						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	乳井 瑞代 [間宮 瑞代]	平成28年4月	テーマパーク論Ⅰ テーマパーク論Ⅱ						
兼任	講師	小林 範子	平成28年4月	都市と芸術 都市と芸術特演	兼任	講師	小林 範子	平成27年4月	都市と芸術 都市と芸術特演	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	平良木 節	平成27年4月	ビューティ文化	兼任	講師	小山 知子	平成27年4月	ビューティ文化	平成27年3月 平良木節講師辞任のため平成 27年度より担当者の変更 (27)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

<芸術情報学部 舞台表現学科>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	奈木 隆	平成27年4月	演劇表現基礎演習Ⅰ 演劇表現基礎演習Ⅱ プロデュース研究 プロデュース演習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	山崎 岩男	平成27年4月	ソルフェージュ基礎実習 身体表現概論 ミュージカル表現基礎演習Ⅰ ミュージカル表現基礎演習Ⅱ ミュージカル表現基礎演習Ⅲ ミュージカル表現基礎演習Ⅳ	専	教授	山崎 岩男	平成27年4月	ソルフェージュ基礎実習 ミュージカル表現基礎演習Ⅰ ミュージカル表現基礎演習Ⅱ ミュージカル表現基礎演習Ⅲ ミュージカル表現基礎演習Ⅳ	担当教員見直し(27) 「ミュージカル表現基礎演習Ⅰ」は、他に担当教員が3名いるため、支障はない。
					兼任	講師	本間 憲一 [本間 憲]	平成27年4月	身体表現概論	担当教員見直し(27)
専	教授	伊藤 大	平成27年4月	身体表現論A 演技論Ⅰ 演技論Ⅱ 演劇表現基礎演習Ⅲ 演劇表現基礎演習Ⅳ 舞台表現演習ⅠA 舞台表現演習ⅡA 演劇表現演習Ⅱ 演出論Ⅰ 演出論Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究	専	教授	伊藤 大	平成27年4月	演技論Ⅰ 演技論Ⅱ 演劇表現基礎演習Ⅲ 演劇表現基礎演習Ⅳ 舞台表現演習ⅠA 舞台表現演習ⅡA 演劇表現演習Ⅱ 演出論Ⅰ 演出論Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究	
					兼任	講師	本間 憲一 [本間 憲]	平成27年4月	身体表現論A	入学者増に伴う担当科目割振見直し(27)
専	教授	小林 仁等 [小林 等]	平成27年4月	身体表現論C 演劇表現基礎演習Ⅰ 演劇表現基礎演習Ⅱ ミュージカル表現基礎演習Ⅰ ミュージカル表現基礎演習Ⅱ ミュージカル表現基礎演習Ⅲ ミュージカル表現基礎演習Ⅳ 舞台表現演習ⅠC 舞台表現演習ⅡC ミュージカル表現演習Ⅰ ミュージカル表現演習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究	専	教授	小林 仁等 [小林 等]	平成27年4月	演劇表現基礎演習Ⅰ 演劇表現基礎演習Ⅱ ミュージカル表現基礎演習Ⅰ ミュージカル表現基礎演習Ⅱ ミュージカル表現基礎演習Ⅲ ミュージカル表現基礎演習Ⅳ 舞台表現演習ⅠC 舞台表現演習ⅡC ミュージカル表現演習Ⅰ ミュージカル表現演習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究	担当教員見直し(27) 「演劇表現基礎演習Ⅰ」は、他に担当教員が3名いるため、支障はない。
					専	准教授	伽藍 琳 [伽藍 典子]	平成27年4月	身体表現論C	入学者増に伴う担当科目割振見直し(27)
専	准教授	久保 和範	平成27年4月	ソルフェージュ基礎実習 ミュージカル表現基礎演習Ⅰ ミュージカル表現基礎演習Ⅱ ミュージカル表現基礎演習Ⅲ ミュージカル表現基礎演習Ⅳ	専	教授	久保 和範	平成27年4月	ソルフェージュ基礎実習 ミュージカル表現基礎演習Ⅰ ミュージカル表現基礎演習Ⅱ ミュージカル表現基礎演習Ⅲ ミュージカル表現基礎演習Ⅳ	担当教員見直し(27) 「ミュージカル表現基礎演習Ⅰ」は、他に担当教員が3名いるため、支障はない。
専	准教授	伊藤 紫織	平成27年4月	美学 芸術概論 日本美術史						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	関 聡太郎	平成27年4月	ミュージカル表現基礎 演習Ⅲ ミュージカル表現基礎 演習Ⅳ 舞台表現演習ⅠC 舞台表現演習ⅡC ミュージカル表現演習 Ⅰ ミュージカル表現演習 Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究	専	准教授	関 聡太郎	平成27年4月	ミュージカル表現基礎 演習Ⅲ ミュージカル表現基礎 演習Ⅳ 舞台表現演習ⅠC 舞台表現演習ⅡC ミュージカル表現演習 Ⅰ ミュージカル表現演習 Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究 ミュージカル史Ⅰ ミュージカル史Ⅱ	} 担当教員見直し (27)
専	准教授	伽藍 琳 [伽藍 典子]	平成27年4月	舞踊表現基礎演習Ⅰ 舞踊表現基礎演習Ⅱ ミュージカル表現基礎 演習Ⅲ ミュージカル表現基礎 演習Ⅳ 舞台表現演習ⅠC 舞台表現演習ⅡC ミュージカル表現演習 Ⅰ ミュージカル表現演習 Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究	専	准教授	伽藍 琳 [伽藍 典子]	平成27年4月	ミュージカル表現基礎 演習Ⅲ ミュージカル表現基礎 演習Ⅳ 舞台表現演習ⅠC 舞台表現演習ⅡC ミュージカル表現演習 Ⅰ ミュージカル表現演習 Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究 身体表現論B 身体表現論C	} 入学者増に伴う担当科 目割振見直し (27)
専	准教授	岡本 雄司	平成27年4月	デッサン基礎実習	専	講師	三輪 亜希子	平成27年4月	舞踊表現基礎演習Ⅰ 舞踊表現基礎演習Ⅱ	入学者増に伴う担当科目割振 見直し (27)
専	講師	大隅 智佳子	平成27年4月	ソルフェージュ基礎実 習 舞台応用芸術論 舞台芸術教育論						
専	講師	三輪 亜希子	平成27年4月	身体表現論B 舞踊史Ⅰ 舞踊史Ⅱ 舞踊表現基礎演習Ⅲ 舞踊表現基礎演習Ⅳ 舞台表現演習ⅠB 舞台表現演習ⅡB 舞踊表現演習Ⅰ 舞踊表現演習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究	専	講師	三輪 亜希子	平成27年4月	舞踊史Ⅰ 舞踊史Ⅱ 舞踊表現基礎演習Ⅲ 舞踊表現基礎演習Ⅳ 舞台表現演習ⅠB 舞台表現演習ⅡB 舞踊表現演習Ⅰ 舞踊表現演習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究 舞踊表現基礎演習Ⅰ 舞踊表現基礎演習Ⅱ	} 入学者増に伴う担当科 目割振見直し (27)
専	准教授	伽藍 琳 [伽藍 典子]	平成27年4月	身体表現論B	専	准教授	伽藍 琳 [伽藍 典子]	平成27年4月	身体表現論B	入学者増に伴う担当科目割振 見直し (27)
兼任	教授	宮澤 光造	平成27年4月	立体造形基礎						
兼任	教授	馬場 哲夫	平成27年4月	舞台音響・音響効果研 究 舞台音響・音響効果演 習						
兼任	講師	大築 淳一	平成27年4月	音声生理学						
兼任	講師	渡辺 弘	平成27年4月	劇場文化論	兼任	講師	渡辺 弘	平成28年4月	劇場文化論	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	時本 楠緒子	平成27年4月	人間の心理 人間科学論						
兼任	講師	宮本 啓子	平成27年4月	演劇史Ⅰ 演劇史Ⅱ						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	佐藤 正文	平成27年4月	演劇表現基礎演習Ⅰ 演劇表現基礎演習Ⅱ 演劇表現基礎演習Ⅲ 演劇表現基礎演習Ⅳ 舞台表現演習ⅠA 舞台表現演習ⅡA 演劇表現演習Ⅰ						
兼任	講師	鍛田 かおる	平成27年4月	演劇表現基礎演習Ⅰ 演劇表現基礎演習Ⅱ 演劇表現基礎演習Ⅲ 演劇表現基礎演習Ⅳ						
兼任	講師	宮島 春彦	平成27年4月	演劇特殊研究A	兼任	講師	宮島 春彦	平成29年4月	演劇特殊研究A	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	石澤 秀治	平成27年4月	演劇特殊研究B	兼任	講師	石澤 秀治	平成29年10月	演劇特殊研究B	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	中島 那奈子	平成27年4月	舞踊論Ⅰ 舞踊論Ⅱ	兼任	講師	中島 那奈子	平成28年4月	舞踊論Ⅰ 舞踊論Ⅱ	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	後藤 いずみ	平成27年4月	舞踊表現基礎演習Ⅰ 舞踊表現基礎演習Ⅱ 舞踊表現基礎演習Ⅲ 舞踊表現基礎演習Ⅳ						
兼任	講師	本間 憲一	平成27年4月	舞踊表現基礎演習Ⅰ 舞踊表現基礎演習Ⅱ ミュージカル表現基礎演習Ⅲ ミュージカル表現基礎演習Ⅳ	兼任	講師	本間 憲一 [本間 憲]	平成27年4月	ミュージカル表現基礎演習Ⅲ ミュージカル表現基礎演習Ⅳ 身体表現概論 身体表現論A	「氏名」通称使用のため (27) 担当教員見直し (27) 入学者増に伴う担当科目割振見直し (27)
					兼任	講師	青井 智佳子 [佐々木 智佳子]	平成27年4月	舞踊表現基礎演習Ⅰ 舞踊表現基礎演習Ⅱ	
兼任	講師	青井 智佳子 [佐々木 智佳子]	平成27年4月	舞踊表現基礎演習Ⅲ 舞踊表現基礎演習Ⅳ	兼任	講師	青井 智佳子 [佐々木 智佳子]	平成27年4月	舞踊表現基礎演習Ⅰ 舞踊表現基礎演習Ⅱ 舞踊表現基礎演習Ⅲ 舞踊表現基礎演習Ⅳ	担当教員見直し (27)
兼任	講師	平山 素子	平成27年4月	舞台表現演習ⅠB 舞台表現演習ⅡB 舞踊表現演習Ⅰ 舞踊表現演習Ⅱ	兼任	講師	平山 素子	平成28年4月	舞台表現演習ⅠB 舞台表現演習ⅡB 舞踊表現演習Ⅰ 舞踊表現演習Ⅱ	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	小山内 伸	平成27年4月	ミュージカル史Ⅰ ミュージカル史Ⅱ	専	准教授	関 聡太郎	平成27年4月	ミュージカル史Ⅰ ミュージカル史Ⅱ	担当教員見直し (27)
兼任	講師	中川 菜緒子 [渡部 菜緒子]	平成27年4月	ミュージカル表現基礎演習Ⅰ ミュージカル表現基礎演習Ⅱ ミュージカル表現基礎演習Ⅲ ミュージカル表現基礎演習Ⅳ	兼任	講師	中川 菜緒子 [渡部 菜緒子]	平成28年4月	ミュージカル表現基礎演習Ⅲ ミュージカル表現基礎演習Ⅳ	都合により就任遅延 (27) 中川菜緒子講師就任遅延のため担当変更 (27)
					兼任	講師	池田 紳一	平成27年4月	ミュージカル表現基礎演習Ⅰ ミュージカル表現基礎演習Ⅱ	
兼任	講師	岡崎 亮子 [越智 亮子]	平成27年4月	ミュージカル表現基礎演習Ⅰ ミュージカル表現基礎演習Ⅱ ミュージカル表現基礎演習Ⅲ ミュージカル表現基礎演習Ⅳ			後任なし			担当教員見直し (27) 「ミュージカル表現基礎演習Ⅰ～Ⅳ」は、他に担当教員が3名いるため、支障はない。
兼任	講師	池谷 京子	平成27年4月	ミュージカル表現基礎演習Ⅰ ミュージカル表現基礎演習Ⅱ ミュージカル表現基礎演習Ⅲ ミュージカル表現基礎演習Ⅳ						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	水野谷 重謙	平成27年4月	舞台美術論 舞台美術演習 舞台技術研究 舞台技術演習						
兼任	講師	鶴田 学	平成27年4月	デザインの基礎 図面制作実習						
兼任	講師	井上 サチ子	平成27年4月	舞台衣装研究	兼任	講師	井上 サチ子	平成28年10月	舞台衣装研究	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	土屋 茂昭	平成27年4月	舞台装置研究 舞台装置演習	兼任	講師	土屋 茂昭	平成28年4月	舞台装置研究 舞台装置演習	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	吉井 澄雄	平成27年4月	舞台照明研究			後任未定			吉井澄雄講師就任辞退 (27) 「後任未定」平成28年4月採用予定で候補者に打診中。 「舞台照明研究」は平成28年度開講のため、支障はない。
兼任	講師	越智 達也	平成27年4月	舞台照明演習	兼任	講師	越智 達也	平成28年10月	舞台照明演習	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	長島 確	平成27年4月	舞台芸術批評論			後任未定			長島確講師就任辞退 (27) 「後任未定」平成28年4月採用予定で候補者に打診中。 「舞台芸術批評論」は平成28年度開講のため、支障はない。
兼任	講師	門野 泉	平成27年4月	戯曲論	兼任	講師	門野 泉	平成29年4月	戯曲論	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	松井 周	平成27年4月	劇作論 劇作演習	兼任	講師	松井 周	平成29年4月	劇作論 劇作演習	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	阪 涼子	平成27年4月	古典芸能基礎演習Ⅰ 古典芸能基礎演習Ⅱ	兼任	講師	阪 涼子	平成28年4月	古典芸能基礎演習Ⅰ 古典芸能基礎演習Ⅱ	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	善竹 富太郎	平成27年4月	古典芸能基礎演習Ⅰ 古典芸能基礎演習Ⅱ	兼任	講師	善竹 富太郎	平成28年4月	古典芸能基礎演習Ⅰ 古典芸能基礎演習Ⅱ	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	小林 直弥	平成27年4月	古典芸能研究Ⅰ 古典芸能研究Ⅱ	兼任	講師	小林 直弥	平成29年4月	古典芸能研究Ⅰ 古典芸能研究Ⅱ	配当年次に伴う修正 (27)
兼任	講師	須賀 由紀子	平成27年4月	遊戯論	兼任	講師	須賀 由紀子	平成29年10月	遊戯論	配当年次に伴う修正 (27)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					年 齢 構 成		年齢構成（前年度の状況）	
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
4	5	2	0	11	4	5	2	0	11	65	0	—	—
(4)	(5)	(2)	(0)	(11)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	歳	名	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・「年齢構成（前年度の状況）」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「—」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
		該当なし	

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (27年5月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

＜芸術情報学部 舞台表現学科＞

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設・設備（新校舎の建設） 建築面積1,295㎡延べ床面積1,819㎡ （約200㎡演習室2室、約100㎡演習室4室、 シャワー室や更衣室、ラウンジ等を含む） ② 入学者選抜 a A○入試（30名）【1～3期】 b 指定校・公募推薦入試（20名） 【指定校1～3期・公募1期】 c 一般入試・特待生入試（20名） 【一般A～C日程・特待生1～2期】 d 留学生入試（若干名）【A～B日程】 ③ 教学面の管理運営（教授会の審議事項） 教授会は、学則第14条第3項の事項並びに理事会及び代議員会が諮問した事項を審議する。 ・学則第14条第3項の事項 (1)教育研究の基本方針に関する事項 (2)教育課程及び履修方式に関する事項 (3)学則その他重要な規程に関する事項 (4)専任教育職員の人事に関する事項 (5)客員教授、客員研究員、非常勤講師の委嘱に関する事項 (6)教育職員の資格審査に関する事項 (7)教育職員の留学及び派遣に関する事項 (8)学生の入学、退学、除籍、転学、留学、休学、復学及び卒業等に関する事項 (9)定期試験及び追再試験等に関する事項 (10)学生の指導及び賞罰に関する事項 (11)学長又は学部長が諮問した事項 (12)その他教授会において必要と認めた学部運営に関する重要な事項 ④ 教学面の管理運営（教授会以外に関連する委員会等） a 代議員会 b 自己点検・評価委員会 c 教員任用委員会 d 教務委員会 e 学生・国際交流委員会 f キャリア・インターンシップ委員会 g メディア・紀要委員会 h 学生募集・入学試験委員会	① 新校舎完成後の実面積を修正する。 建築面積1,275㎡延べ床面積1,814㎡ （約200㎡演習室2室、約100㎡演習室4室、 シャワー室や更衣室、ラウンジ等を含む） ② 応募の機会を増やし、より優秀な人材を確保するため、以下のとおり試験日程を追加した。 a A○入試に4期を追加した。 d 留学生入試にC日程を追加した。 e 帰国生徒入試（若干名）【A～C日程】を追加した。 試験内容：日本国外での就学経験を持ち、本学科での学習に必要な基礎的学力と資質、意欲を持つ人物を、書類選考、面接により選考する。 f 社会人入試（若干名）【A～C日程】を追加した。 試験内容：三年以上の就業経験を持ち、本学科での学習に必要な基礎的学力と資質、意欲を持つ人物を、書類選考、面接により選考する。 ③ 学校教育法の一部改正に伴い、学則及び教授会規程を改定し教授会の審議事項等を以下のとおりとした。 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。 (1)学生の入学、卒業及び学位の授与に関する事項 (2)その他当該学部に係る教育又は研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの 2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。 また、当該学部に係る教育又は研究に関する重要な事項で、学長が教授会の意見を聴くことが必要なものについて、学長裁定として以下のとおり定めた。 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。 (1)教育課程の編成に関する事項 (2)教員及び教員候補者の教育研究業績の審査に関する事項 (3)学生の退学、転学、留学、休学、復学に関する事項 (4)学生の懲戒に関する事項 ④ 組織体制の見直しに伴い、以下のとおり変更した。 a 代議員会規程を改定、会議体名称を「教育研究評議会」に変更した。 d～h 各委員会規程を改定、学部設置ではなく全学委員会とした。 e 学生・国際交流委員会を機能分化のため「学生委員会」と「国際交流委員会」とした。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（F D活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

現在、教員の資質の維持向上の方策としての具体的な専門委員会は設置していないが、教育研究評議会において、F D活動の一環として、学部学科の目的、教育内容・方法について組織的な研修を実施し、教員の教育研究、指導能力の向上を図っている。また、教育活動の評価体制の一環として、学生からの授業評価アンケートを実施。その結果を各授業担当教員にフィードバックし、授業改善を行うなど、全学的な取組を実施している。しかしながら今後の取組として、より充実した活動を行うべく、新たに専門委員会を設置する方向で検討中である。

また、ハラスメントの防止等に関する事項については、ハラスメント防止対策委員会を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

ハラスメント防止対策委員会については、平成27年度中に開催予定。

c 委員会の審議事項等

設置検討中の専門委員会では、教育研究に関する事項（基本方針及び実施体制、F D活動、教育内容・方法の改善及び支援等）を中心に、今後の教員の資質の維持向上の方策について審議する。

また、ハラスメント防止対策委員会においては、ハラスメントの防止等に関する事項の審議を行う。

② 実施状況

a 実施内容

以下の研修等の実施を検討している。

- ・ 新任教員研修
- ・ ハラスメントに関する研修
- ・ 教育内容・方法の改善等に関する教員研修
- ・ 教員相互の授業参観による教員研究活動評価

b 実施方法

専任教員を対象に実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

年1～2回程度を予定している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修での提案、意見を踏まえ、具体的な教授方法の改善や授業内容の見直し等を行い、教員の資質向上へと反映させていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学期終了後に実施予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

平成27年度具体的実施に向け、教育研究評議会において検討を行っている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的については当初の設定通り実現しつつあるが、今後も新たな課題への取組や問題点の改善に努め、設置の趣旨に沿った教育研究の維持向上を目指していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・未定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成27年度に公益財団法人日本高等教育評価機構の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ ☒ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成27年5月末予定)

C－2 尚美学園大学 教育研究評議会規程

(目 的)

第1条 この規程は、本学学則第12条第3項に基づき、教育研究評議会の機能、構成、運営その他必要な事項を定める。

(機 能)

第2条 教育研究評議会は、大学の教育・研究に関わる重要事項並びに具体的な教育運営業務の執行について審議する。

2 教育研究評議会は、学校法人尚美学園の建学の精神「智と愛」及び尚美学園大学の開学の指針「勇氣・創造」を基盤とし、全学的視野で運営されなければならない。

(構 成)

第3条 教育研究評議会は、学則第12条第2項に規定する者をもって組織する。

2 理事長及び理事は、教育研究評議会に出席することができる。

3 学長が必要であると認めたときは、教育研究評議会に附置機関等の長、学科長、学科等の主任及び各種委員会の委員等の出席を求めることができる。

(任 期)

第4条 学部教授会から選任された教育研究評議員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

(審議事項)

第5条 教育研究評議会は、次の事項を審議する。

- (1) 教育研究の基本方針に関する事項
- (2) 教育課程の編成に関する方針に係る事項
- (3) 各種委員会に関する事項
- (4) 学則その他教育研究に係る重要な規程等の制定及び改廃に関する事項
- (5) 教員の人事に関する事項
- (6) 学生の指導、助言及び賞罰に関する事項
- (7) 学生の入学、卒業又は課程の修了その他学生の在籍に関する方針及び学位の授与に関する方針に係る事項
- (8) 理事長の諮問に関する事項
- (9) その他本学の運営に必要と認められる重要な事項

(会議の招集)

第6条 教育研究評議会は、毎月1回学長がこれを招集する。

2 学長が必要と認めたとき、又は2分の1以上の教育研究評議会の構成員から要請が

あったとき、学長は臨時に招集しなければならない。

3 教育研究評議会の議長は、学長がこれに当たる。

(会議の成立)

第7条 教育研究評議会は、学則に規定する構成員の2分の1以上の出席をもって成立する。

(議 決)

第8条 教育研究評議会の議事は、出席構成員の過半数の賛成によって決定する。

(報 告)

第9条 教育研究評議会の審議決定の結果は、各学部長等により、必要に応じ速やかに所属教授会、各種委員会等に報告され、承認を求める必要事項に関しては適切な処理がとられなければならない。

(改 廃)

第10条 この規程の改廃は、大学経営会議の議を経て、理事会の承認を得なければならない。

附 則

1 この規程は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。

E-30 尚美学園大学 ハラスメントの防止等に関する規程

(目 的)

第1条 この規程は、本学の教職員及び学生等が個人として尊重されるとともに就学及び就労上の適正な環境を保護するため、本学におけるハラスメントの防止及び排除のための措置並びにハラスメントに起因する問題が生じた場合に適切に対応するための措置に関し、必要な事項を定める。

(定 義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号の定めるところによる。

(1) 教職員

本学の学長、学部長、学科長、研究科長、専攻長、教員（非常勤講師、外部講師を含む。）、職員（契約職員、パート職員及び本学に勤務する法人本部役・職員を含む。）、及び本学に就労する派遣労働者及び委託又は請負業務従事者をいう。

(2) 学生等

本学の学生その他本学において修学する者をいう。

(3) 関係者

学生等及び教職員以外の者であって、本学の学生等又は教職員と、修学、研究、教育又は就労に関連して接触するすべての者をいう。

(4) セクシュアル・ハラスメント

教職員が他の教職員、学生等又は関係者を不快にさせる性的な言動、学生等が教職員、他の学生等又は関係者を不快にさせる性的な言動及び関係者が教職員又は学生等を不快にさせる性的な言動をいう。

(5) アカデミック・ハラスメント

教員がその職務上の地位又は権限を不当に利用して他の教員又は学生等に対して行う研究若しくは教育上又は就学上の不適切な言動をいう。

(6) パワー・ハラスメント

教職員が職務上の地位又は権限を不当に利用して他の教職員に対して行う就労上の不適切な言動をいう。

(7) その他のハラスメント

第4号から第6号までに掲げるハラスメント以外の人権を侵害することとなる不適切な言動をいう。

(8) ハラスメント

セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメントその他ハラスメントの総称をいう。

(9) ハラスメントに起因する問題

ハラスメントのため教職員の就労上又は学生等の就学上の環境が著しく害されるこ

と又はハラスメントへの対応に起因して教職員が就労上又は学生等が就学上の不利益を受けることをいう。

(10) カウンセラー

学生等及び教職員の精神面のケアのために本学が委嘱する専門家

(11) 苦情相談

ハラスメントに関する苦情の申出及び相談をいう。

(12) 調停

苦情相談に係るハラスメントに起因する問題を当事者双方の合意により解決するよう助力することをいう。

(適用範囲)

第3条 この規程は、教職員又は学生等がハラスメント及びハラスメントに起因する被害を受けたとき、又は加害行為をなしたときに適用する。

(ハラスメント防止ガイドライン)

第4条 学長は、大学経営会議の議を経て、ハラスメント防止ガイドライン（以下「ガイドライン」という。）を定める。

2 ガイドラインは、ハラスメント及びその他禁止すべき関連行為を例示し、基本的な心構え及び認識すべき事項等を定める。

(学長の責務)

第5条 学長は、教職員に対し本規程の周知徹底を図らなければならない。

2 学長は、教職員に対し適当な機会においてハラスメントの防止のために必要な啓発活動を行うものとする。

3 学長は、学生等に対しガイダンス等適当な機会において前号同様の啓発活動を行うものとする。

4 学長は、現に生じたハラスメント及びハラスメントに起因する問題を解決するため必要な措置を講ずるものとする。

5 学長は、本学におけるハラスメントの防止に関し本学における最終的な責任を負うものとする。

(部長等の責務)

第6条 学部、研究科、センター、事務局の長及び部門長（以下「部長等」という。）は、当該部におけるハラスメントの防止等に関し総括し、ハラスメントに起因する問題が生じる場合には迅速かつ適切に対処しなければならない。

2 部長等は、日常の業務を通じた指導等により、ハラスメントに関し所属員の注意を喚起し、ハラスメントに関する認識を深めさせ、ハラスメントが職場に生じることがないように配慮しなければならない。

3 部長等は、ハラスメントが生じた場合には、迅速かつ適切に対処しなければならない。

い。

- 4 部長等は、被害を受けたとする者又は当該関係者等からの苦情相談に対応しなければならない。ただし、カウンセラーが相談に応じた場合はこの限りではない。

(学科長・課長の責務)

第7条 教職員又は学生等を監督する地位にある者（以下「学科長・課長」という。）は、当該監督する教職員又は学生等に対し、次の各号に掲げる事項に注意してハラスメントの防止及び排除に努めるとともに、ハラスメントに起因する問題が生じた場合には迅速かつ適切に対処しなければならない。

- (1) ハラスメントに関し、注意を喚起し、認識を深めさせること。
- (2) 言動に十分な注意を払うことにより、ハラスメント又はハラスメントに起因する問題が生じることがないように配慮すること。

(教職員及び学生等の責務)

第8条 教職員及び学生等は、本規程及びガイドラインに従い、ハラスメントを行ってはならない。

- 2 教職員及び学生等は、部長等又は学科長・課長の指導等に従い、ハラスメントの防止及び排除に協力しなければならない。

(委員会の設置)

第9条 本学に、ハラスメントを防止するとともにハラスメントに起因する問題が生じた場合に適切に対応するため、ハラスメント防止対策委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(任 務)

第10条 委員会は、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) ハラスメントの防止等についての規程等の改廃その他具体的方策の立案に関する事項
- (2) ハラスメントの防止等についての研修及び啓発活動の企画に関する事項
- (3) その他ハラスメントの防止等に関し必要な事項

2 委員会は、第15条第2項の規定により相談者が調停を希望する旨の報告を受けたときは、委員のうちから調停員を指名し、調停を行う。

3 委員会は、第15条第2項の規定により相談者が委員会の対応を求める旨の報告を受けた場合で調停を希望しないとき又は前項の調停が不調に終わった場合で相談者が希望するときは、事実関係の確認を行う。この場合において、事実関係の確認に関し調査が必要と認めたときは、委員会に調査委員会を設置することができる。

4 委員会は、前項に規定する事実関係の確認に関し関係部局等による調査が必要であると認めたときには、関係部局等の長に調査を依頼するものとする。

5 委員会は、調停又は事実関係の確認が終了したときは、学長に報告するものとする。

る。

（構成）

第11条 委員会は、次の各号に定める者をもって構成する。

- （1）学部長及び研究科長
 - （2）学生部長（学生に関するハラスメント問題が発生したときに限る。）
 - （3）各学科教員 各1名
 - （4）事務局長
 - （5）事務職員 4名
 - （6）カウンセラー 1名（カウンセラーが相談を受けた事案に限る。）
 - （7）その他学長が必要と認めた者
- 2 前項第3号及び第5号の委員については、学部長又は事務局長の推薦を得て学長が指名する。
- 3 前項の委員の任期は1年とする。ただし再任を妨げない。
- 4 委員に欠員が生じ、その後任として選任された者の任期は、前任者の残任期間とする。

（会議）

第12条 委員会の委員長は、前条第1項第1号の委員をもって充てる。

- 2 委員会は、必要に応じ委員長が招集し、その議長となる。
- 3 委員会は、委員の過半数の出席により成立し、出席委員の過半数をもって議事を決する。
- 4 委員長は、必要に応じて、学外の有識者（弁護士等）を委員として招聘することができる。
- 5 委員長は、必要に応じて、関係教職員を出席させることができる。
- 6 委員が当該案件に関して利害関係人であるときは、審議に参加することができない。

（ハラスメント相談員）

第13条 学生等、教職員及び関係者からの相談に対応するため、本学に相談員を置く。

- 2 相談員について必要な事項は、別に定める。
- 3 学長は、相談員の氏名、連絡方法その他苦情相談に関して必要な事項を、適宜、学内に周知するものとする。

（カウンセラーによる相談）

第14条 本学は、カウンセラーに対し、ハラスメント等に関する相談を取り扱うことを委嘱し、被害者がカウンセラーに相談できるようにする。

- 2 カウンセラーは、ハラスメント等に関する相談を受けた場合、必要に応じて委員長に報告するものとする。

(相談員及びカウンセラーの責務)

第15条 相談員及びカウンセラーは、苦情相談に真摯に応ずるとともに、問題の解決に必要な指導・助言を行い、当該問題を適切かつ迅速に解決するよう努めなければならない。

2 相談員及びカウンセラーは、苦情相談を受けた場合は、その都度、委員長又は事務局長に別に定める様式により報告しなければならない。この場合において、相談員及びカウンセラーは、相談者が委員会の対応を求めるときは、相談者が調停を希望するか否かを確認し、併せて報告しなければならない。

(報告等)

第16条 委員会は、ハラスメントに関する相談につき、関係当事者のプライバシーに配慮しつつ、速やかにその概要及び解決策等を学長に報告しなければならない。

2 学長は、前項の報告に基づき検討し、賞罰委員会の招集の是非を理事長に諮らなければならない。

(苦情相談)

第17条 学生等、教職員及び関係者は希望する相談員及びカウンセラーに対して苦情相談をすることができる。

(プライバシーの保護等)

第18条 ハラスメントに関する苦情の申し出及び相談の対応にあたっては、教職員及び学生等のプライバシーや名誉その他の人権を尊重するとともに、知り得た情報を他に漏らしてはならない。

(二次被害の防止)

第19条 学長、部長等及びその他の教職員は、ハラスメントに対する苦情の申し出、当該苦情に係る調査への協力、その他ハラスメントに正当な対応をした教職員又は学生等が、そのことにより報復、妨害、その他不利益な取り扱いを受けることのないよう二次被害の防止に努めなければならない。

2 前項における報復等の行為に対しても、本規程を適用する。

(虚偽の苦情相談等)

第20条 学生等及び教職員並びに関係者は、ハラスメントに関し、悪意を持って虚偽の苦情相談又は証言をしてはならない。

2 学長は、悪意を持ってなされた虚偽の苦情相談又は証言によりハラスメントを行ったとされた者の名誉が著しく傷つけられたと判断したときは、必要な措置を講じ、その者の名誉回復に努めるものとする。

(改 廃)

第 2 1 条 この規程の改廃は、教育研究評議会及び大学経営会議の議を経なければならない。

附 則

1 この規程は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成 27 年 5 月 1 日から施行する。

2 尚美学園大学ハラスメント防止対策委員会規程は廃止する。

尚美学園大学 ハラスメント相談員に関する内規

(目 的)

第1条 この内規は、尚美学園大学ハラスメントの防止等に関する規程（以下「規程」という。）第13条第2項に基づき、ハラスメント相談員（以下「相談員」という。）について必要な事項を定める。

(相談員)

第2条 本学に相談員を置く。

- 2 相談員は、規程第15条に基づき、学生等、教職員又は関係者によるハラスメントに関する苦情相談に対応する。
- 3 相談員は、学部長又は事務局長の推薦により、別表に定める人数を学長が指名する。
- 4 相談員の構成は年齢及び性別が偏ることのないよう配慮しなければならない。
- 5 相談員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。
- 6 相談員のうち、1名を互選により主任相談員とする。主任相談員は、相談員間の連絡、調整その他相談の円滑な実施に必要な措置を行う。

(相談員連絡会議)

第3条 相談員及びカウンセラーは、相互の連絡、調整等、ハラスメントに関する相談を実施する上で必要な措置を検討し実施するため、相談員連絡会議を組織する。

- 2 主任相談員は、必要に応じて会議を招集するものとする。

(プライバシーの保護)

第4条 相談員は、規程第18条に基づき、ハラスメントに関する苦情相談に対応するにあたり、関係者のプライバシー、名誉その他の人権を尊重するとともに、知り得た情報を他に漏らしてはならない。

(改 廃)

第5条 この内規の改廃は、教育研究評議会及び大学経営会議の議を経るものとする。

附 則

- 1 この内規は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この内規は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この内規は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この内規は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この内規は、平成 27 年 5 月 1 日から施行する。

別 表

所 属		相談員数
芸術情報学部	情報表現学科	2 名
	音楽表現学科	2 名
	音楽応用学科	2 名
	舞台表現学科	2 名
総合政策学部	総合政策学科	2 名
	ライフマネジメント学科	2 名
総合政策研究科	政策行政専攻	1 名
芸術情報研究科	情報表現専攻	1 名
	音楽表現専攻	1 名
事務局	教育・学生支援センター	2 名
	入試・広報センター	2 名
	庶務・管理センター	2 名
法人本部	総務部	2 名